

学生の確保の見通し等を記載した書類・資料編

資料編		ページ
資料 1	リクルート進学総研マーケットリポート 2023（近畿版）	p.2
資料 2	京都府地域共創大学連携会議・配付資料	p.4
資料 3	リクルート進学総研マーケットリポート 2023（京都エリア概要）	P5
資料 4	都道府県別大学・短大流入状況 旺文社	p.6
資料 5	別紙 1 新設組織が置かれる都道府県への入学状況	p.7
資料 6	リクルートマーケットレポート 2022 系統別私立・女子入学者数	p.8
資料 7	リクルート進学総研マーケットリポート 2023（近畿版）	p.9
資料 8	別紙 2 - 1 収容定員の充足状況	p.10
資料 9	既設学科等の入学定員の充足状況・京都華頂大学現代家政学部現代家政学科	p.11
	既設学科等の入学定員の充足状況・京都華頂大学現代家政学部食物栄養学科	
	既設学科等の入学定員の充足状況・華頂短期大学総合文化学科	
	既設学科等の入学定員の充足状況・華頂短期大学幼児教育学科	
資料 10	組織の移行表	p.15
資料 11	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	p.16
資料 12	競合校概要比較	p.17
	競合校比較（教育内容）	p.19
資料 13	競合校との初年度学生納付金比較	p.23
資料 14	本学への交通アクセス・マップ	p.24
資料 15	競合校の入学志願動向	p.25
資料 16	浄土宗宗立・宗門校	p.26
資料 17	学生確保に関するアンケート調査（集計結果）	p.27
	学生確保に関するアンケート調査（概要リーフレット）	p.31
	学生確保に関するアンケート調査（調査票）	p.33
	学生確保に関するアンケート調査（調査協力高校）	p.36
	学生確保に関するアンケート調査（追加）（集計結果）	p.39
資料 18	学生確保に関するアンケート調査（概要リーフレット）	(再掲)
	学生確保に関するアンケート調査（追加）（調査票）	p.43
	学生確保に関するアンケート調査（追加）（集計結果）	p.46
資料 19	人材需要に関するアンケート調査（集計結果）	p.46
	人材需要に関するアンケート調査（調査票）	p.51
	人材需要に関するアンケート調査（調査協力事業所）	p.53

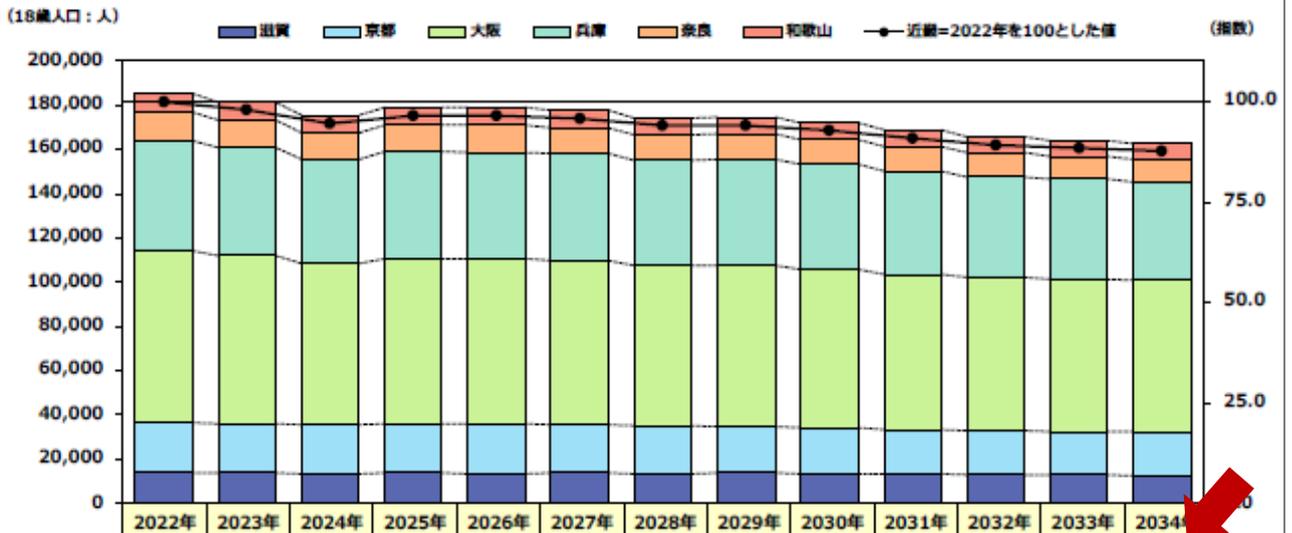
資料 1 :

マーケットレポート 2022(近畿版),2023, リクルート進学総研,2p、3p.

18歳人口予測 (全体 : 近畿 : 2022~2034年)

■ 2022年185,626人→2034年162,668人 (22,958人減少)

- ・近畿エリアは22,958人・12.4%減少し、全国の減少率10.3%を2.1ポイント上回る。
- ・2024年に175,609人まで減少し、翌2025年に3,779人増加するがその後再び減少に転じ、2029年に微増するが、2030年以降は減少する。
- ・減少率が高いのは、和歌山県 (2022年比較19.1%減少)。
- ・減少数が多いのは、大阪府 (2022年77,446人→2034年68,299人、9,147人減少)。



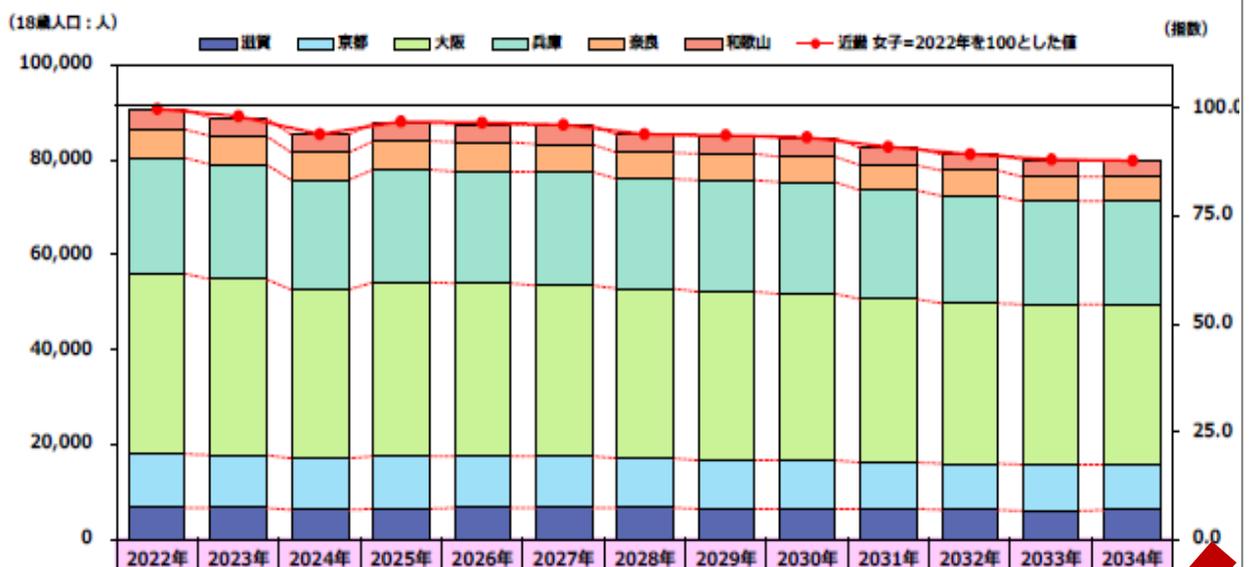
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
近畿	人数	185,626	181,639	175,609	179,388	179,313	178,046	174,431	174,633	172,217	168,955	165,722	164,183	162,668
	指数	100.0	97.9	94.6	96.6	96.6	95.9	94.0	94.1	92.8	91.0	89.3	88.4	87.6
滋賀	人数	14,028	13,783	13,318	13,807	13,725	13,802	13,620	13,758	13,530	13,379	13,215	12,967	12,831
	指数	100.0	98.3	94.9	98.4	97.8	98.4	97.1	98.1	96.4	95.4	94.2	92.4	91.5
京都	人数	22,738	22,376	22,202	22,532	22,277	21,990	21,590	21,090	20,688	20,103	20,071	19,794	19,714
	指数	100.0	98.4	97.6	99.1	98.0	96.7	95.0	92.8	91.0	88.4	88.3	87.1	86.7
大阪	人数	77,446	75,864	72,886	74,476	74,633	73,988	72,628	72,671	71,511	70,418	68,943	68,764	68,299
	指数	100.0	98.0	94.1	96.2	96.4	95.5	93.8	93.8	92.3	90.9	89.0	88.8	88.2
兵庫	人数	49,960	49,121	47,278	48,314	48,387	48,398	47,203	48,293	47,718	46,562	45,618	45,189	44,430
	指数	100.0	98.3	94.6	96.7	96.9	96.9	94.5	96.7	95.5	93.2	91.3	90.5	88.9
奈良	人数	12,847	12,367	12,013	12,318	12,290	11,904	11,703	11,314	11,190	11,116	10,823	10,352	10,428
	指数	100.0	96.3	93.5	95.9	95.7	92.7	91.1	88.1	87.1	86.5	84.2	80.6	81.2
和歌山	人数	8,607	8,128	7,912	7,941	8,001	7,964	7,687	7,507	7,580	7,377	7,052	7,117	6,966
	指数	100.0	94.4	91.9	92.3	93.0	92.5	89.3	87.2	88.1	85.7	81.9	82.7	80.9
全国	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7

※データ元 : 文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（女子：近畿：2022～2034年）

■2022年90,742人→2034年79,860人（10,882人減少）

- ・女子は10,882人・12.0%減少し、全国の減少率10.1%を1.9ポイント上回る。
- ・2024年に85,428人まで減少、翌2025年に2,479人増加した後、減少に転じる。
- ・減少率が高いのは、和歌山県（2022年比較18.7%減少）。
- ・減少数が多いのは、大阪府（2022年37,976人→2034年33,679人、4,297人減少）。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
近畿	人数	90,742	88,985	85,428	87,907	87,628	87,260	85,398	85,143	84,652	82,584	81,224	80,037	79,860
	指数	100.0	98.1	94.1	96.9	96.6	96.2	94.1	93.8	93.3	91.0	89.5	88.2	88.0
滋賀	人数	6,786	6,789	6,431	6,624	6,682	6,747	6,698	6,601	6,659	6,586	6,385	6,223	6,372
	指数	100.0	100.0	94.8	97.6	98.5	99.4	98.7	97.3	98.1	97.1	94.1	91.7	93.9
京都	人数	11,236	11,110	10,892	11,091	10,968	10,855	10,581	10,255	10,102	9,768	9,790	9,703	9,551
	指数	100.0	98.9	96.9	98.7	97.6	96.6	94.2	91.3	89.9	86.9	87.1	86.4	85.0
大阪	人数	37,976	37,108	35,489	36,669	36,520	36,068	35,694	35,468	35,112	34,454	33,710	33,620	33,679
	指数	100.0	97.7	93.5	96.6	96.2	95.0	94.0	93.4	92.5	90.7	88.8	88.5	88.7
兵庫	人数	24,478	24,103	22,981	23,614	23,502	23,818	23,104	23,554	23,425	22,739	22,536	21,913	21,714
	指数	100.0	98.5	93.9	96.5	96.0	97.3	94.4	96.2	95.7	92.9	92.1	89.5	88.7
奈良	人数	6,029	5,945	5,785	6,000	6,039	5,841	5,572	5,567	5,508	5,426	5,334	5,036	5,098
	指数	100.0	98.6	96.0	99.5	100.2	96.9	92.4	92.3	91.4	90.0	88.5	83.5	84.6
和歌山	人数	4,237	3,930	3,850	3,909	3,917	3,931	3,749	3,698	3,846	3,611	3,469	3,542	3,446
	指数	100.0	92.8	90.9	92.3	92.4	92.8	88.5	87.3	90.8	85.2	81.9	83.6	81.3

全国	人数	547,640	536,904	519,493	533,094	533,002	530,653	522,302	521,140	513,837	505,739	500,261	494,598	492,590
	指数	100.0	98.0	94.9	97.3	97.3	96.9	95.4	95.2	93.8	92.3	91.3	90.3	89.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

資料 2 :
京都府地域共創大学連携会議,2022,京都府 HP, 配付資料

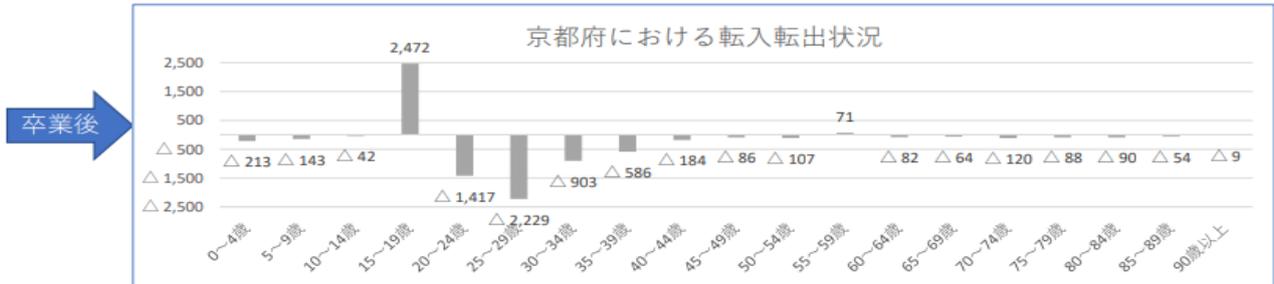
京都府・大学等を取り巻く状況・課題について

◆京都府は人口当たり学生数が日本一の大学のまち。ただし、毎年その約8割は府外から入学し、府内出身者の府内進学率は約5割。



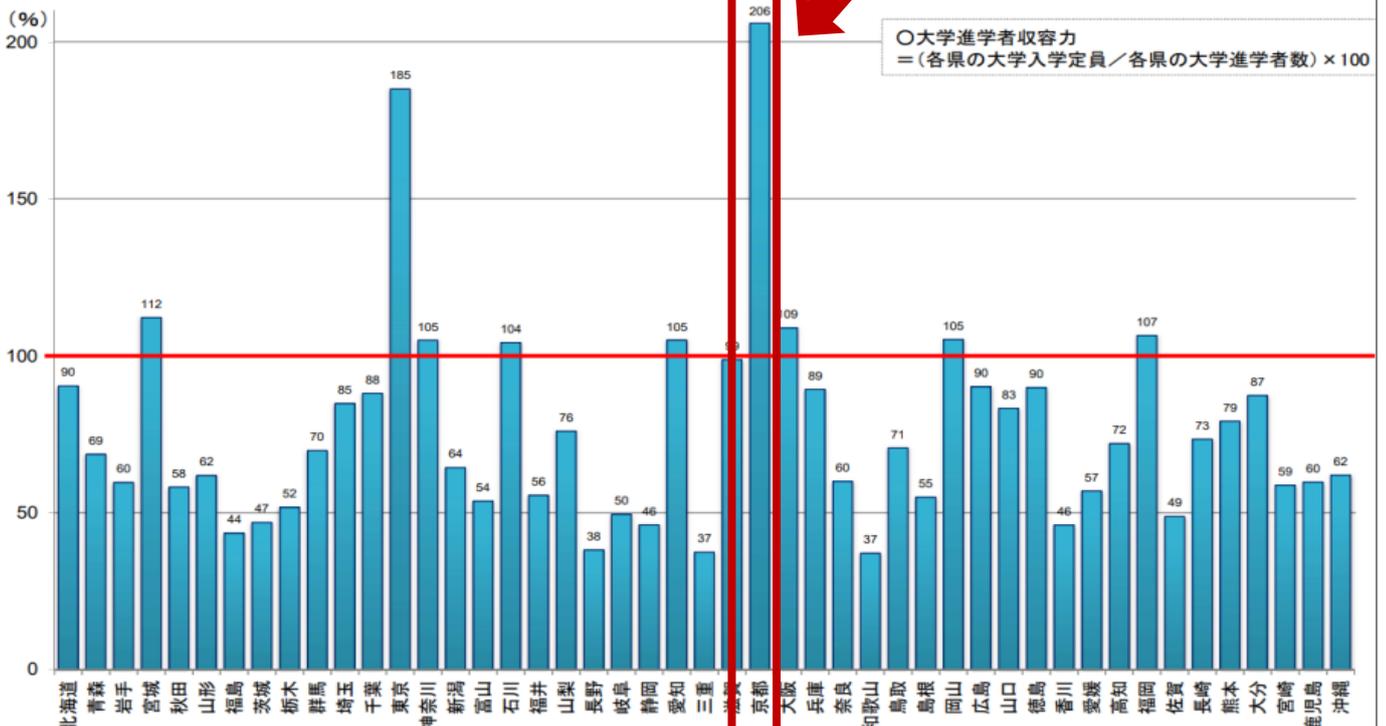
【出典】○令和3年学校基本調査（文部科学省）
○令和3年度住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）

◆京都府からの人口転出は、進学・就職・転居等により大学卒業後10年以上をかけて順次流出する。



【出典】○令和3年住民基本台帳人口移動報告（総務省）

都道府県別大学進学者収容力



【出典】○大学入学定員数: 文部科学省調べ(※各県(学部)の所在地による)に所在する大学の入学定員を学校基本統計の二次利用により一部補正。
○大学進学者数: 文部科学省「学校基本統計(平成29年度)」二次利用を元に集計。

京都エリア概要

京都府



学校数

大学 : 34 (国立 3・公立 4・私立 27)
 短期大学 : 9 (私立 9)
 専門学校 : 52 (公立 4・私立 48)

卒業生数

2014年22,250人→2023年21,359人 (891人減少)

進学者数

大学 : 2014年13,178人→2023年14,868人 (1,690人増加)
 短期大学 : 2014年 1,303人→2023年 652人 (651人減少)
 専門学校 : 2014年 3,096人→2023年 2,795人 (301人減少)

進学率 (現役)

大学 : 2014年59.2%→2023年69.6% (10.4ポイント上昇)
 男子 70.7% 女子68.5%

短期大学 : 2014年 5.9%→2023年 3.1% (2.8ポイント低下)
 専門学校 : 2014年13.9%→2023年13.1% (0.8ポイント低下)

残留率

大学 : 2014年49.8%→2023年53.3% (3.5ポイント上昇)
 短期大学 : 2014年65.8%→2023年70.2% (4.4ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (6,849人)、2位滋賀 (3,106人)、3位兵庫 (2,690人)
 短期大学 : 1位滋賀 (225人)、2位大阪 (154人)、3位福井 (38人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (3,156人)、2位滋賀 (1,380人)、3位兵庫 (754人)
 短期大学 : 1位大阪 (110人)、2位兵庫 (48人)、3位滋賀 (17人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本県の所在地 (2023年学校基本調査より)
- ・卒業生数 : 高等学校卒業した人数 (全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した人数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校(※))÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

資料 4 :

都道府県別大学・短大進学状況,2023,旺文社教育情報センター, 2p.

各都道府県の地元大学進学率(各県の大学進学者における地元大学進学者の割合)
(2023年4月入学者)

合計			男子			女子		
出身高校の所在地	地元進学率	地元大学進学者数	出身高校の所在地	男子地元進学率	男子地元大学進学者数	出身高校の所在地	女子地元進学率	女子地元大学進学者数
1 愛知	72.1%	28,204	1 愛知	68.4%	14,109	1 愛知	76.2%	14,095
2 東京	68.3%	54,268	2 東京	65.4%	26,517	2 東京	71.3%	27,751
3 北海道	65.6%	14,128	3 北海道	64.8%	7,748	3 福岡	67.0%	7,283
4 福岡	65.2%	15,028	4 福岡	63.5%	7,745	4 北海道	66.6%	6,289
5 大阪	59.7%	28,156	5 大阪	62.7%	16,041	5 京都	58.9%	4,622
6 宮城	55.1%	5,539	6 宮城	54.1%	2,963	6 広島	56.2%	3,915
7 京都	53.3%	8,641	7 広島	49.1%	3,738	7 宮城	56.2%	2,576
8 広島	52.5%	7,653	8 京都	48.1%	4,019	8 大阪	56.1%	12,107
9 石川	47.8%	2,705	9 石川	45.5%	1,363	9 兵庫	54.0%	7,589
10 熊本	45.7%	3,276	10 熊本	41.9%	1,575	10 石川	50.2%	1,342
11 兵庫	44.9%	13,198	11 神奈川	41.3%	10,195	11 熊本	49.9%	1,701
12 岡山	40.5%	3,942	12 沖縄	38.9%	1,739	12 岡山	46.4%	2,108
13 新潟	40.4%	3,700	13 新潟	37.9%	1,916	13 長崎	44.5%	1,078
14 沖縄	39.7%	3,438	14 兵庫	36.6%	5,609	14 新潟	43.3%	1,784
15 神奈川	39.7%	18,080	15 千葉	35.8%	6,066	15 徳島	42.1%	674
16 青森	38.1%	1,851	16 青森	35.5%	928	16 青森	41.0%	923
17 長崎	37.5%	1,953	17 岡山	35.4%	1,834	17 沖縄	40.7%	1,699
18 徳島	36.5%	1,186	18 鹿児島	33.3%	1,191	18 愛媛	40.1%	1,156
19 愛媛	34.6%	2,112	19 長崎	31.4%	875	19 群馬	39.7%	1,634
20 千葉	34.3%	10,566	20 徳島	31.1%	512	20 神奈川	37.8%	7,885
21 鹿児島	34.2%	2,178	21 福井	30.2%	672	21 鹿児島	35.3%	987
22 群馬	32.6%	2,944	22 埼玉	30.1%	5,978	22 福井	34.2%	632
23 福井	32.0%	1,304	23 愛媛	29.7%	956	23 千葉	32.4%	4,500
24 埼玉	29.3%	10,317	24 大分	27.7%	637	24 岩手	31.7%	666
25 静岡	28.3%	4,867	25 群馬	26.6%	1,310	25 静岡	31.1%	2,368
26 岩手	28.0%	1,225	26 静岡	26.1%	2,499	26 高知	31.0%	438
27 大分	27.7%	1,143	27 岩手	24.6%	559	27 宮崎	30.9%	570
28 宮崎	26.0%	1,058	28 栃木	24.5%	1,242	28 埼玉	28.3%	4,339
29 栃木	25.6%	2,360	29 秋田	24.2%	413	29 大分	27.8%	506
30 高知	25.3%	748	30 福島	23.5%	897	30 山口	27.5%	653
31 秋田	24.9%	778	31 滋賀	23.3%	942	31 栃木	26.9%	1,118
32 山口	23.8%	1,184	32 宮崎	22.0%	488	32 山梨	26.1%	586
33 三重	23.0%	1,782	33 三重	20.5%	870	33 三重	25.9%	912
34 山梨	22.7%	1,181	34 山口	20.3%	531	34 秋田	25.7%	365
35 福島	22.3%	1,557	35 山梨	20.2%	595	35 岐阜	25.4%	1,096
36 滋賀	22.2%	1,624	36 高知	20.1%	310	36 島根	25.1%	320
37 岐阜	21.6%	2,058	37 岐阜	18.5%	962	37 山形	24.9%	463
38 山形	21.3%	860	38 山形	18.1%	397	38 長野	23.3%	1,017
39 島根	19.9%	550	39 富山	18.1%	439	39 和歌山	22.4%	423
40 富山	19.7%	911	40 茨城	17.2%	1,458	40 富山	21.4%	472
41 和歌山	19.3%	815	41 和歌山	16.8%	392	41 茨城	20.9%	1,504
42 茨城	18.9%	2,962	42 香川	16.3%	442	42 滋賀	20.9%	682
43 長野	18.8%	1,795	43 島根	15.5%	230	43 福島	20.8%	660
44 香川	17.4%	874	44 長野	15.1%	778	44 香川	18.6%	432
45 佐賀	15.4%	531	45 佐賀	13.5%	252	45 奈良	18.3%	650
46 鳥取	15.1%	355	46 鳥取	12.6%	155	46 鳥取	17.9%	200
47 奈良	15.0%	1,158	47 奈良	12.1%	508	47 佐賀	17.7%	279
その他			その他			その他		
計	44.8%	276,743	計	42.8%	141,603	計	47.2%	135,140

※文部科学省『令和5年度 学校基本調査(確定値)』より算出。

2023年度 都道府県別 大学・短大 進学状況
(株)旺文社 教育情報センター

資料 5 : (別紙 1)
新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）

※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	京都	8,641 人	24.4%
2	大阪	6,849 人	19.4%
3	滋賀	3,106 人	8.8%
4	兵庫	2,690 人	7.6%
5	奈良	1,542 人	4.4%
	全 体	35,395 人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県等)	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	京都	99.32%	101.30%	101.37%
2				

※ 2 校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	人文科学	99.30%	98.93%	96.28%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

資料 6 :

リクルートマーケットレポート 2022 系統別私立:女子入学者数※既卒含む(浪人),2022,
リクルート進学総研

②-2私立:女子入学者数※既卒含む(浪人)									
区分-1	区分-2	2015年度 H27	2016年度 H28	2017年度 H29	2018年度 H30	2019年度 R元年	2020年度 R2年	2021年度 R3年	2022年度 R4年
人文科学	文学	22,026	22,163	21,893	22,190	21,466	21,780	21,014	20,879
	史学	2,720	2,764	2,701	2,723	2,587	2,517	2,478	2,397
	哲学	6,260	6,515	6,579	6,955	7,038	7,337	7,247	7,440
	その他	18,636	18,222	19,229	19,528	19,264	18,463	17,082	16,737
社会科学	法学・政治学	10,651	11,267	11,400	10,890	11,130	11,235	11,650	12,006
	商学・経済学	27,813	28,320	29,855	29,567	28,944	29,092	29,145	30,514
	社会学	16,683	16,354	16,673	16,276	16,256	16,412	16,615	16,820
	その他	5,944	6,184	6,349	6,364	6,249	6,067	6,179	6,442
理学	数学	507	541	530	555	537	467	526	544
	物理学	267	298	270	278	253	225	267	258
	化学	585	568	536	610	605	606	571	644
	生物学	556	500	535	527	626	620	572	726
	地学	72	55	68	63	68	53	47	64
	その他	1,150	1,164	1,237	1,232	1,206	1,245	1,171	1,361
工学	機械工学	514	447	492	526	527	551	474	497
	電気通信工学	1,428	1,378	1,578	1,562	1,582	1,646	1,709	1,816
	土木建築工学	2,100	2,072	2,467	2,390	2,525	2,539	2,514	2,775
	応用化学	1,224	1,054	1,017	1,000	1,003	1,099	943	982
	応用理学	177	181	164	162	199	228	187	287
	原子力工学	12	7	5	10	15	15	6	10
	鉱山学	—	—	—	—	—	—	—	—
	金属工学	—	—	—	—	—	—	—	—
	繊維工学	—	—	—	—	—	—	—	—
	船舶工学	—	—	—	8	7	—	—	—
	航空工学	69	78	57	59	55	73	92	88
	経営工学	311	266	296	283	246	250	219	186
	工芸学	175	203	186	184	227	249	248	259
	その他	2,374	2,367	2,538	2,540	2,684	2,689	2,448	2,565
農学	農学	554	559	577	594	578	591	549	572
	農芸化学	504	527	506	494	530	515	505	553
	農業工学	126	138	121	122	136	146	111	139
	農業経済学	165	153	170	157	148	151	171	208
	林学	49	45	47	39	41	33	43	37
	林産学	—	—	—	—	—	—	—	—
	獣医学畜産学	846	863	878	955	1,005	1,074	1,108	1,127
	水産学	282	250	262	254	241	255	235	238
その他	1,986	1,998	1,985	1,953	1,922	1,945	1,840	2,110	
保健	医学	1,263	1,307	1,371	1,412	1,558	1,457	1,607	1,562
	歯学	779	740	712	704	756	720	776	658
	薬学	7,071	6,843	6,954	6,750	6,518	6,499	6,393	6,820
	看護学	13,595	14,100	15,139	16,085	16,270	16,696	16,686	16,928
	その他	10,181	9,937	10,412	10,782	11,743	12,669	12,614	12,924
商船	商船学	—	—	—	—	—	—	—	—
家政	家政学	4,316	4,206	4,154	4,060	4,288	3,946	3,964	3,796
	食物学	8,433	8,197	8,460	8,475	8,116	8,041	7,950	8,318
	被服学	1,254	1,310	1,328	1,371	1,526	1,504	1,414	1,379
	住居学	181	167	174	192	198	200	195	191
	児童学	1,156	1,159	1,177	1,171	1,244	1,186	1,063	1,064
	その他	58	36	37	54	70	71	73	72
教育	教育学	5,458	5,742	6,086	6,198	6,750	6,811	6,652	6,985
	小学校課程	—	—	—	—	—	81	—	—
	中学校課程	—	—	—	—	—	—	—	—
	高等学校課程	—	—	—	—	—	—	—	—
	特別教科課程	—	—	—	—	—	—	—	—
	盲学校課程	—	—	—	—	—	—	—	—
	聾学校課程	—	—	—	—	—	—	—	—
	中等教育学校課程	61	71	89	74	87	83	70	43
	養護学校課程	—	—	—	—	—	—	—	—
	幼稚園課程	—	—	—	—	—	—	—	—
	体育学	3,098	3,016	3,314	3,295	3,322	3,297	3,037	3,309
	障害児教育課程	—	—	—	—	—	—	—	—
	特別支援教育課程	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	10,590	9,920	10,021	9,759	9,446	9,405	8,670	8,180	
芸術	美術	1,571	1,580	1,948	2,012	2,117	2,117	1,976	2,088
	デザイン	2,914	2,840	2,835	2,861	2,907	3,025	2,862	2,903
	音楽	2,723	2,754	2,699	2,639	2,677	2,730	2,669	2,511
	その他	3,668	3,657	3,484	3,479	3,646	3,742	3,756	3,875
その他	教養学	723	712	741	697	787	759	723	611
	総合科学	—	—	—	—	—	—	—	—
	教養課程(文科)	647	936	934	962	929	934	907	881
	教養課程(理科)	359	359	335	320	295	290	299	339
	教養課程(その他)	43	33	22	23	—	—	—	—
	人文・社会科学	3,922	4,431	4,582	4,238	4,740	4,437	4,472	4,399
	国際関係学(国際関)	2,167	2,607	2,700	2,473	2,794	2,751	2,804	2,548
	人間関係科学	1,034	1,172	1,212	1,402	1,412	1,317	1,301	1,336
	その他	9062	9572	9770	10517	10540	10403	10330	10268
	人文科学 計	49,642	49,664	50,402	51,396	50,355	50,097	47,821	47,653
	社会科学 計	61,091	62,125	64,277	63,097	62,579	62,806	63,589	65,782
	理学 計	3,137	3,126	3,176	3,265	3,295	3,216	3,154	3,597
	工学 計	8,384	8,053	8,800	8,724	9,070	9,339	8,840	9,465
農学 計	4,512	4,533	4,546	4,568	4,601	4,710	4,562	4,984	
保健 計	32,889	32,927	34,588	35,733	36,845	38,041	38,076	38,892	
商船 計	—	—	—	—	—	—	—	—	
家政 計	15,398	15,075	15,330	15,323	15,442	14,948	14,659	14,820	
教育 計	19,207	18,749	19,510	19,326	19,605	19,677	18,429	18,517	
芸術 計	10,876	10,831	10,966	10,991	11,347	11,614	11,263	11,377	
その他 計	17,957	19,822	20,296	20,632	21,497	20,891	20,836	20,382	
私立	私立 計	223,093	224,905	231,891	233,055	234,636	235,339	231,229	235,469

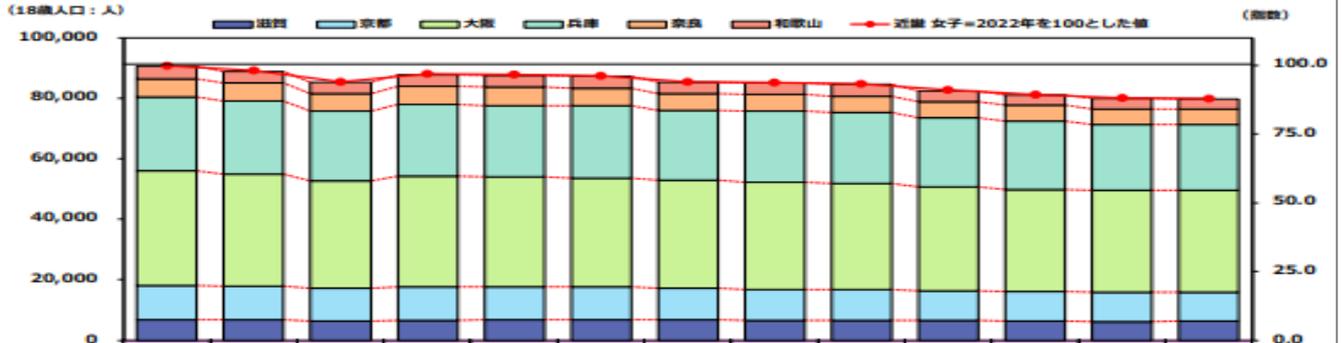
資料 7 :

マーケットリポート 2022(近畿版),2023, リクルート進学総研,4p、13p.

18歳人口予測 (女子 : 近畿 : 2022~2034年)

■ 2022年90,742人→2034年79,860人 (10,882人減少)

- ・女子は10,882人・12.0%減少し、全国の減少率10.1%を1.9ポイント上回る。
- ・2024年に85,428人まで減少、翌2025年に2,479人増加した後、減少に転じる。
- ・減少率が高いのは、和歌山県(2022年比較18.7%減少)。
- ・減少数が多いのは、大阪府(2022年37,976人→2034年33,679人、4,297人減少)。



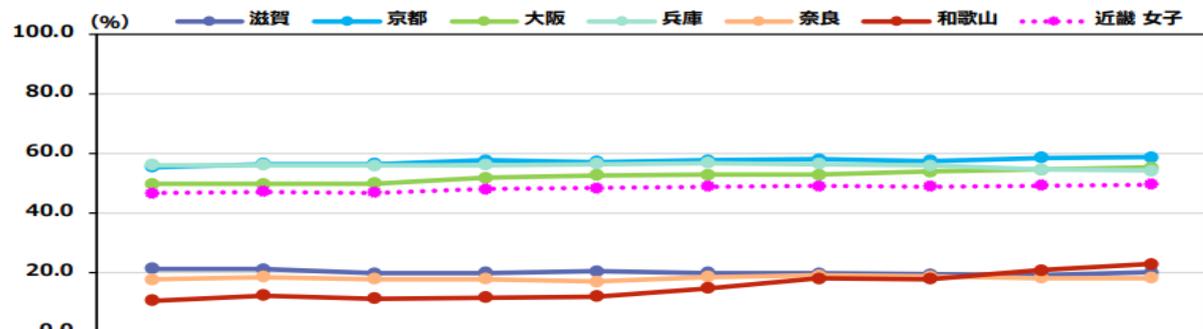
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
近畿	人数	90,742	88,985	85,428	87,907	87,628	87,260	85,398	85,143	84,652	82,584	81,224	80,037	79,860
	指数	100.0	98.1	94.1	96.9	96.6	96.2	94.1	93.8	93.3	91.0	89.5	88.2	88.0
滋賀	人数	6,786	6,789	6,431	6,624	6,682	6,747	6,698	6,601	6,659	6,586	6,385	6,223	6,372
	指数	100.0	100.0	94.8	97.6	98.5	99.4	98.7	97.3	98.1	97.1	94.1	91.7	93.9
京都	人数	11,236	11,110	10,892	11,091	10,968	10,855	10,581	10,255	10,102	9,768	9,790	9,703	9,551
	指数	100.0	98.9	96.9	98.7	97.6	96.6	94.2	91.3	89.9	86.9	87.1	86.4	85.0
大阪	人数	37,976	37,108	35,489	36,669	36,520	36,068	35,694	35,468	35,112	34,454	33,710	33,620	33,679
	指数	100.0	97.7	93.5	96.6	96.2	95.0	94.0	93.4	92.5	90.7	88.8	88.5	88.7
兵庫	人数	24,478	24,103	22,981	23,614	23,502	23,818	23,104	23,554	23,425	22,739	22,536	21,913	21,714
	指数	100.0	98.5	93.9	96.5	96.0	97.3	94.4	96.2	95.7	92.9	92.1	89.5	88.7
奈良	人数	6,029	5,945	5,785	6,000	6,039	5,841	5,572	5,567	5,508	5,426	5,334	5,036	5,098
	指数	100.0	98.6	96.0	99.5	100.2	96.9	92.4	92.3	91.4	90.0	88.5	83.5	84.6
和歌山	人数	4,237	3,930	3,850	3,909	3,917	3,931	3,749	3,698	3,846	3,611	3,469	3,542	3,446
	指数	100.0	92.8	90.9	92.3	92.4	92.8	88.5	87.3	90.8	85.2	81.9	83.6	81.3
全国	人数	547,640	536,904	519,493	533,094	533,002	530,653	522,302	521,140	513,837	505,739	500,261	494,598	492,590
	指数	100.0	98.0	94.9	97.3	97.3	96.9	95.4	95.2	93.8	92.3	91.3	90.3	89.9

地元残留率の推移 (女子 : 近畿 : 2013~2022年)

■ 大学は、2013年46.6%→2022年49.4% (2.8ポイント上昇) 短期大学は、2013年68.0%→2022年71.1% (3.1ポイント上昇)

- ・大学で上昇率が高いのは、和歌山県(2013年10.5%→2022年22.8%、12.3ポイント上昇)。
- ・短期大学で上昇率が高いのは、滋賀県(2013年37.1%→2022年52.3%、15.2ポイント上昇)。

大学女子 : 地元残留率



	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
近畿	46.6	47.0	46.8	47.9	48.3	48.8	48.9	48.8	49.1	49.4
滋賀	21.3	21.1	19.7	19.8	20.3	19.8	19.7	19.3	19.1	20.0
京都	55.4	56.4	56.3	57.5	57.1	57.6	57.9	57.4	58.4	58.6
大阪	49.6	49.7	49.8	51.8	52.5	52.8	52.8	53.7	54.5	55.1
兵庫	56.1	56.1	55.9	56.1	56.3	56.7	56.3	55.8	54.4	54.1
奈良	17.6	18.4	17.7	17.7	17.0	18.4	19.0	18.6	18.1	18.2
和歌山	10.5	12.3	11.3	11.6	11.9	14.7	17.9	17.7	20.7	22.8

資料 9 : (様式 別紙 2-2)
既設学科等の入学定員の充足状況(直近 5 年間)

既設学科等の入学定員の充足状況 (直近 5 年間) 別紙 2 の 2 - 1
 大学学部学科等名 : 京都華頂大学 現代家政学部 現代家政学科
 (大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。)

1. 各選抜方法の状況		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人員	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数	11人	4人	3人	9人	18人	9人
		受験者数	11人	4人	3人	9人	18人	9人
		合格者数	11人	4人	3人	9人	18人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	11人	4人	3人	9人	18人	9人
		受験者数	11人	4人	3人	9人	18人	9人
		合格者数	11人	4人	3人	9人	18人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	11人	4人	3人	9人	18人	9人	
	学校推薦型選抜	募集人員	38人	38人	38人	38人	38人	38人
		延べ人数	志願者数	52人	54人	44人	51人	26人
受験者数			52人	54人	44人	51人	26人	45人
合格者数			52人	54人	42人	51人	25人	45人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			7人	12人	7人	11人	5人	8人
実人数		志願者数	52人	54人	44人	51人	26人	45人
		受験者数	52人	54人	44人	51人	26人	45人
		合格者数	52人	54人	42人	51人	25人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	12人	7人	11人	5人	8人
入学者数		45人	42人	35人	40人	20人	36人	
一般選抜		募集人員	30人	30人	30人	30人	30人	30人
		延べ人数	志願者数	47人	31人	9人	15人	13人
	受験者数		42人	29人	8人	15人	13人	21人
	合格者数		41人	29人	8人	14人	11人	21人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		27人	19人	4人	11人	8人	14人
	実人数	志願者数	38人	19人	7人	10人	10人	17人
		受験者数	33人	17人	7人	10人	10人	15人
		合格者数	32人	16人	8人	13人	9人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	6人	4人	10人	6人	7人
	入学者数	14人	10人	4人	3人	3人	7人	
	共通テスト利用入試	募集人員	一般選抜に含む					#DIV/0!
		延べ人数	志願者数	12人	7人	2人	4人	3人
受験者数			12人	7人	2人	4人	3人	6人
合格者数			11人	7人	2人	4人	3人	5人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			10人	7人	2人	4人	3人	5人
実人数		志願者数	12人	7人	2人	4人	3人	6人
		受験者数	12人	7人	2人	4人	3人	6人
		合格者数	11人	7人	2人	4人	3人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	7人	2人	4人	3人	5人
入学者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人員	2人	2人	2人	2人	2人	2人
		延べ人数	志願者数	9人	8人	9人	1人	3人
	受験者数		9人	8人	9人	1人	3人	6人
	合格者数		9人	8人	9人	1人	3人	6人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	9人	8人	9人	1人	3人	6人
		受験者数	9人	8人	9人	1人	3人	6人
		合格者数	9人	8人	9人	1人	3人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	9人	8人	9人	1人	3人	6人	
	合計	募集人員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	131人	104人	67人	80人	63人
受験者数			126人	102人	66人	80人	63人	87人
合格者数			124人	102人	64人	79人	60人	86人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			44人	38人	13人	26人	16人	27人
実人数		志願者数	122人	92人	65人	75人	60人	83人
		受験者数	117人	90人	65人	75人	60人	81人
		合格者数	115人	89人	64人	78人	58人	81人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	25人	25人	13人	25人	14人	20人
入学者数		80人	64人	51人	53人	44人	58人	

2. 入学定員充足率		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員		80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率		1.00	0.80	0.64	0.66	0.55	0.73
歩留率		0.65	0.63	0.80	0.67	0.73	0.69

(備考) 一般選抜・共通テスト利用入試の募集人員は各年度合計で30人。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2の2-2

大学学部学科等名：

京都華頂大学 現代家政学部 食物栄養学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人員	3人	3人	3人	3人	3人	3人	
	延べ人数	志願者数	2人	4人	5人	5人	16人	6人
		受験者数	2人	4人	5人	5人	16人	6人
		合格者数	2人	4人	5人	5人	16人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	2人	4人	5人	5人	16人	6人
		受験者数	2人	4人	5人	5人	16人	6人
		合格者数	2人	4人	5人	5人	16人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	2人	4人	5人	5人	16人	6人	
	学校推薦型選抜	募集人員	28人	28人	28人	28人	28人	28人
		延べ人数	志願者数	63人	49人	52人	20人	27人
受験者数			60人	48人	51人	20人	26人	41人
合格者数			48人	46人	49人	20人	26人	38人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			10人	9人	12人	4人	8人	9人
実人数		志願者数	63人	49人	52人	20人	27人	42人
		受験者数	60人	48人	51人	20人	26人	41人
		合格者数	48人	46人	49人	20人	26人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	9人	12人	4人	8人	9人
入学者数		38人	37人	37人	16人	18人	29人	
一般選抜		募集人員	27人	27人	27人	27人	27人	27人
		延べ人数	志願者数	43人	30人	27人	23人	22人
	受験者数		39人	30人	27人	22人	21人	28人
	合格者数		34人	24人	21人	18人	19人	23人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		20人	14人	16人	12人	14人	15人
	実人数	志願者数	29人	18人	20人	20人	19人	21人
		受験者数	25人	18人	20人	20人	18人	20人
		合格者数	23人	10人	14人	17人	18人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	0人	9人	11人	13人	8人
	入学者数	14人	10人	5人	6人	5人	8人	
	共通テスト利用入試	募集人員	一般選抜に含む					#DIV/0!
		延べ人数	志願者数	12人	8人	4人	5人	4人
受験者数			12人	6人	4人	5人	4人	6人
合格者数			7人	4人	4人	5人	4人	5人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			7人	2人	4人	5人	3人	4人
実人数		志願者数	12人	8人	4人	5人	4人	7人
		受験者数	12人	6人	4人	5人	4人	6人
		合格者数	7人	4人	4人	5人	4人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	2人	4人	5人	3人	4人
入学者数		0人	2人	0人	0人	1人	1人	
その他の特別選抜		募集人員	2人	2人	2人	2人	2人	2人
		延べ人数	志願者数	5人	9人	1人	1人	5人
	受験者数		5人	9人	1人	1人	5人	4人
	合格者数		5人	9人	1人	1人	5人	4人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	5人	9人	1人	1人	5人	4人
		受験者数	5人	9人	1人	1人	5人	4人
		合格者数	5人	9人	1人	1人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	5人	9人	1人	1人	5人	4人	
	合計	募集人員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
		延べ人数	志願者数	125人	100人	89人	54人	74人
受験者数			118人	97人	88人	53人	72人	86人
合格者数			96人	87人	80人	49人	70人	76人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			37人	25人	32人	21人	25人	28人
実人数		志願者数	111人	88人	82人	51人	71人	81人
		受験者数	104人	85人	81人	51人	69人	78人
		合格者数	85人	73人	73人	48人	69人	70人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	11人	25人	20人	24人	21人
入学者数		59人	62人	48人	28人	45人	48人	

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	0.98	1.03	0.80	0.47	0.75	0.81
歩留率	0.61	0.71	0.60	0.57	0.64	0.63

（備考）一般選抜・共通テスト利用入試の募集人員は各年度合計で27人。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2の2-3

大学学部学科等名：

華頂短期大学 総合文化学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人員	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数	7人	19人	21人	16人	21人	17人
		受験者数	7人	19人	21人	16人	21人	17人
		合格者数	7人	19人	21人	16人	21人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	7人	19人	21人	16人	21人	17人
		受験者数	7人	19人	21人	16人	21人	17人
		合格者数	7人	19人	21人	16人	21人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数	7人	19人	20人	16人	21人	17人	
	学校推薦型選抜	募集人員	38人	38人	38人	38人	38人	38人
		延べ人数	志願者数	10人	15人	11人	8人	5人
受験者数			10人	15人	11人	8人	5人	10人
合格者数			10人	15人	11人	8人	5人	10人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	0人	2人	1人	0人	1人
実人数		志願者数	10人	15人	11人	8人	5人	10人
		受験者数	10人	15人	11人	8人	5人	10人
		合格者数	10人	15人	11人	8人	5人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	1人	0人	1人
入学者数		9人	15人	9人	7人	5人	9人	
一般選抜		募集人員	30人	30人	30人	30人	30人	30人
		延べ人数	志願者数	9人	11人	6人	4人	4人
	受験者数		8人	9人	6人	4人	4人	6人
	合格者数		8人	8人	6人	4人	4人	6人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		3人	3人	2人	2人	0人	2人
	実人数	志願者数	9人	11人	6人	4人	4人	7人
		受験者数	8人	9人	6人	4人	4人	6人
		合格者数	8人	8人	6人	4人	4人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	3人	2人	2人	0人	2人
	入学者数	5人	5人	4人	2人	4人	4人	
	共通テスト利用入試	募集人員	一般選抜に含む					#DIV/0!
		延べ人数	志願者数	5人	5人	1人	3人	3人
受験者数			5人	5人	1人	3人	3人	3人
合格者数			5人	5人	1人	3人	3人	3人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			3人	2人	1人	3人	2人	2人
実人数		志願者数	5人	5人	1人	3人	3人	3人
		受験者数	5人	5人	1人	3人	3人	3人
		合格者数	5人	5人	1人	3人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	2人	1人	3人	2人	2人
入学者数		2人	3人	0人	0人	1人	1人	
その他の特別選抜		募集人員	2人	2人	2人	2人	2人	2人
		延べ人数	志願者数	0人	3人	1人	0人	0人
	受験者数		0人	3人	1人	0人	0人	1人
	合格者数		0人	3人	1人	0人	0人	1人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	3人	1人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	3人	1人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	3人	1人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	3人	1人	0人	0人	1人	
	合計	募集人員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	31人	53人	40人	31人	33人
受験者数			30人	51人	40人	31人	33人	37人
合格者数			30人	50人	40人	31人	33人	37人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			7人	5人	6人	6人	2人	5人
実人数		志願者数	31人	53人	40人	31人	33人	38人
		受験者数	30人	51人	40人	31人	33人	37人
		合格者数	30人	50人	40人	31人	33人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	5人	6人	6人	2人	5人
入学者数		23人	45人	34人	25人	31人	32人	

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	0.29	0.56	0.43	0.31	0.39	0.40
歩留率	0.77	0.90	0.85	0.81	0.94	0.85

（備考）一般選抜・共通テスト利用入試の募集人員は各年度合計で30人。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2の2-4

大学学部学科等名： 華頂短期大学 幼児教育学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人員	50人	50人	50人	50人	50人	50人	
	延べ人数	志願者数	138人	155人	109人	109人	95人	121人
		受験者数	138人	154人	108人	109人	95人	121人
		合格者数	137人	154人	105人	109人	95人	120人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	138人	155人	109人	109人	95人	121人
		受験者数	138人	154人	108人	109人	95人	121人
		合格者数	137人	154人	105人	109人	95人	120人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	0人	1人	1人
	入学者数	137人	153人	104人	109人	94人	119人	
	学校推薦型選抜	募集人員	88人	88人	88人	88人	88人	88人
延べ人数		志願者数	42人	38人	26人	27人	27人	32人
		受験者数	40人	38人	26人	27人	26人	31人
		合格者数	40人	38人	26人	27人	26人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	4人	1人	1人	3人	2人
実人数		志願者数	42人	38人	26人	27人	27人	32人
		受験者数	40人	38人	26人	27人	26人	31人
		合格者数	40人	38人	26人	27人	26人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	4人	1人	1人	3人	2人
入学者数		40人	34人	25人	26人	23人	30人	
一般選抜		募集人員	40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	10人	5人	3人	3人	4人	5人
		受験者数	10人	5人	3人	3人	4人	5人
		合格者数	10人	5人	3人	3人	4人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	0人	3人	2人
	実人数	志願者数	10人	5人	3人	3人	4人	5人
		受験者数	10人	5人	3人	3人	4人	5人
		合格者数	10人	5人	3人	3人	4人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	0人	3人	2人
	入学者数	8人	4人	1人	3人	1人	3人	
	共通テスト利用入試	募集人員	一般選抜に含む					#DIV/0!
延べ人数		志願者数	4人	1人	2人	2人	0人	2人
		受験者数	4人	1人	2人	2人	0人	2人
		合格者数	4人	1人	2人	2人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	0人	1人
実人数		志願者数	4人	1人	2人	2人	0人	2人
		受験者数	4人	1人	2人	2人	0人	2人
		合格者数	4人	1人	2人	2人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	0人	1人
入学者数		2人	0人	1人	1人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人員	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	10人	4人	6人	5人	5人	6人
		受験者数	10人	4人	6人	5人	5人	6人
		合格者数	10人	4人	6人	5人	5人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	10人	4人	4人	5人	5人	6人
		受験者数	10人	4人	4人	5人	5人	6人
		合格者数	10人	4人	4人	5人	5人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	9人	4人	4人	5人	5人	5人	
	合計	募集人員	180人	180人	180人	180人	180人	180人
延べ人数		志願者数	204人	203人	146人	146人	131人	166人
		受験者数	202人	202人	145人	146人	130人	165人
		合格者数	201人	202人	142人	146人	130人	164人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	7人	6人	2人	7人	6人
実人数		志願者数	204人	203人	144人	146人	131人	166人
		受験者数	202人	202人	143人	146人	130人	165人
		合格者数	201人	202人	140人	146人	130人	164人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	6人	7人	5人	2人	7人	5人	
入学者数	196人	195人	135人	144人	123人	159人		

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	180人	180人	180人	180人	180人	180人
入学定員充足率	1.09	1.08	0.75	0.80	0.68	0.88
歩留率	0.98	0.97	0.95	0.99	0.95	0.96

（備考）一般選抜・共通テスト利用入試の募集人員は各年度合計で40人。

資料 10 :
組織の移行表

令和6年度			入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度			入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
京都華頂大学						京都華頂大学						
(専攻)						(専攻)						
現代生活学部						現代生活学部						
	こども生活学科		50	-	200		こども生活学科		50	-	200	
	生活情報学科		30	-	120		生活情報学科		30	-	120	
	食物栄養学科	管理栄養学	60	-	240		食物栄養学科	管理栄養学	60	-	240	
		食文化						食文化				
						日本文化学部						
						日本文化学科			40		160	学部の設置 (認可申請)
計			140		560	計			180		720	
華頂短期大学						華頂短期大学						
	幼児教育学科		150	-	300		幼児教育学科		120	-	240	定員変更 (△30)
	総合文化学科		50	-	100		総合文化学科		二	-	二	学生募集停止 (△50)
計			200		400	計			120		240	

資料 11 : (別紙 3)

既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称 :				京都華頂大学現代家政学部のオープンキャンパス
	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析	
参加者等総数 (a)	788人	763人	①取組概要 高校生や高校生の保護者、高校の教員等の進路選択行動状況や進路カレンダーを参考に開催日程を設定 (R4は計8回、R5は計9回)。毎回、高校生の進路選択プロセス (行動・意識) に応じたプログラムを実施。 ②入学者数等に関する分析 「来校 (参加者) →受験」までの受験率は約3割である令和5年度の本学入学者89人全員が、オープンキャンパスに参加したうえで本学への入学を決定している。入学決定において最も重要な取組であると認識している。	
うち受験対象者数 (b)	308人	331人		
うち受験者数 (c)	111人	96人		
うち入学者数 (d)	81人	89人		
(受験率 c/b)	36.0%	29.0%		
(入学率 d/b)	26.3%	26.9%		
②募集を行った学科等名称及び取組の名称 :				京都華頂大学現代家政学部の資料請求対応
	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析	
参加者等総数 (a)	7637人	7347人	①取組概要 本学ホームページ以外にも、受験メディアへ出稿し、資料請求者を募っている。大学案内をはじめ入学選考要項等を、資料請求者への自宅に直送している。 ②入学者数等に関する分析 「資料請求→受験」の受験率は3.6%であるが、入学者89人全員が資料請求行動を行っている資料請求者の「資料請求→来校→受験」プロセスを高めるため切れ目のない情報提供から受験促進を高める必要性を認識している。	
うち受験対象者数 (b)	4124人	3600人		
うち受験者数 (c)	133人	131人		
うち入学者数 (d)	81人	89人		
(受験率 c/b)	3.2%	3.6%		
(入学率 d/b)	2.0%	2.5%		
③募集を行った学科等名称及び取組の名称 :				京都華頂大学現代家政学部の高等学校内ガイダンス、進学相談会等への参画
	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析	
参加者等総数 (a)	38人	49人	①取組概要 高校訪問、校内ガイダンスとも訪問回数を増やし、進路担当教員との信頼関係構築の強化を図った (R5校内ガイダンスはのべ228校)。 ②入学者数等に関する分析 入学者のうち約半数が高校内で接触できている。指定校を中心とした高校内ガイダンスなどの対面型・体験型広報活動の機会を増やすことで接触者の拡大をめざす。	
うち受験対象者数 (b)	35人	43人		
うち受験者数 (c)	35人	43人		
うち入学者数 (d)	34人	43人		
(受験率 c/b)	100.0%	100.0%		
(入学率 d/b)	97.1%	100.0%		
④募集を行った学科等名称及び取組の名称 :				京都華頂大学現代家政学部の本学公式SNSによる切れ目のない情報発信
	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析	
参加者等総数 (a)	—	2700人	①取組概要 LINE約850、Instagram約900、Twitter約650に加え、YouTubeチャンネル約300の登録者がいる。 ②入学者数等に関する分析 入学者調査によると入学者のうち約4割は本学を知ったきっかけにSNSを挙げている。本学ではSNSは個人情報取得していないため、入学者数は把握していないが、ホームページ等のpull型のメディアと、SNSのような拡散系メディアを組み合わせた広報量の確保の重要性を認識している。	
うち受験対象者数 (b)	—	—		
うち受験者数 (c)	—	—		
うち入学者数 (d)	—	—		
(受験率 c/b)	#VALUE!	#VALUE!		
(入学率 d/b)	#VALUE!	#VALUE!		
⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称 :				
	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析	
参加者等総数 (a)	—	—		
うち受験対象者数 (b)	—	—		
うち受験者数 (c)	—	—		
うち入学者数 (d)	—	—		
(受験率 c/b)	#VALUE!	#VALUE!		
(入学率 d/b)	#VALUE!	#VALUE!		

資料 12 :
競合校比較表(概要)

競合校に対する本学の優位性 (他にはない特長、本学の強み)	六学 学部学科等	京都華頂大 日本文化学部日本文化学科	京都産業大 文化学部京都文化学科	京都ノートルダム女子大 国際言語文化学部国際日本文化学科
競合校の選定理由	学校種の類似性 定員規模の類似性 学問分野の類似性(学校基本概要の学科系統分類の中分類を参考に)等	大学(私立) 40	大学(私立) 150	大学(私立) 35
	所在地の類似性(新設組織の主たる学生募集地域に所在するもの)	京都府(京都市)	京都府(京都市)	京都府(京都市)
	学力層の類似性(新設組織が想定する学力層と同程度のもの等)	41~46(※既設)	52~57	41~44
	その他(取得できる学位)	学士(日本文化学)	学士(京都文化学)	学士(人間文化)
競合校に対する本学の優位性 (他にはない特長、本学の強み)	教育目的	○目的: 日本文化学部では、日本文化を構成する歴史文化、伝統文化、生活文化、和食文化、京都文化などの専門知識を、京都に蓄積された文化資源を活用し体験的に学び、日本文化を深く探求する力や新たな文化創造に寄与する能力を修得する。さらに、変容する現代社会において、共有される価値基準の体系である文化を学び、多様な価値観を理解し尊重する豊かな人間性と、提案力・実行力・継続力などを備えた職業人として社会に貢献できる人材を養成する(知識・技能) 1. 語学や社会学、健康科学などの幅広い教養を身につけ、多様な価値観を尊重する豊かな人間性により対話を通じた相互理解ができる。 2. 日本の宗教や芸術に関する歴史学及び古典と現代的表現に関する文化・文学の専門的知識を有し、思想と言語の成り立ちが理解できる。 3. 伝統文化の教養としての京都文化や民俗と和食に関する地域文化の専門的知識を有し、京都の魅力を発見・発信することができる。 (思考力・判断力・表現力) 4. 講義による先行研究の理解や、演習、フィールドワークによる実体験など複数の研究方法を身につけ、課題解決の方法を提案・実行できる。 (主体性・協働性) 5. 少人数ゼミによる他者の意見を尊重する力を有し、文献資料の分析を通じて問題意識を醸成し、卒業論文の執筆を通じて、自らの将来を構想することができる。	○目的: 京都文化・日本文化に関わる学問分野において幅広い教養を育み、京都文化を専門的に探究しうる力量を養うとともに、伝統文化・芸術文化に習熟し、豊かな感性と論理的思考力をもつにつれ、状況対応能力・実践力をもつ人材の養成を目的とする。併せて、京都文化を海外に発信できる英語運用能力をもつ人材の養成を目的とする。 文化学部京都文化学科では、次の養育を身につけるため、学部が定めるカリキュラム(教育課程)により学習し、そこで定められた卒業要件を満たした者に、卒業の認定及び「学士(京都文化学)」の学位を授与します。 知識・理解 1. 京都文化について、基本的知識を有し、日本文化における現代的意義を理解できること。 2. 京都文化の調査・研究に関して、その方法も含め、基本を理解できること。または、日本文化と外国文化双方について基礎的知識を有し、異文化理解・国際交流のための方法の基本を理解できること。 技能 1. 文献資料の解析、フィールドワーク、文化財調査などの基本的な手法を習得し、京都文化を探究できる。または、英語運用能力、コミュニケーション力を生かし、京都文化・日本文化を海外に発信できること。 2. 調査・研究や社会実践の成果を、論文やプレゼンテーションなどの形で表現できること。 3. 地域社会の伝統や特質を理解し、他者を尊重しながら持続可能なコミュニティの形成に寄与できること。 4. 観光の課題に学際的に取り組む力を有していること。 態度・志向 1. 大学で学んだ京都文化学を、地域社会の諸課題の解決に生かす意欲をもち続けることができること。 2. 国際交流の推進など、京都文化・日本文化の新たな価値創造につながる取り組みができること。	○目的: 国際言語文化学部は、言語・歴史・文学・思想・芸術・倫理・宗教など、人々の生活形成の様式と内容の総体である「文化」という視点から、「人間」存在の意味やその意義のありさまを学際的に学び、文化の多様性を理解し、異文化に対する寛容な国際感覚を身につけ、幅広く社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。 キリスト教精神・女性教育キリスト教精神に基づいて豊かな人間性と奉仕の精神を備え、自立した女性として社会に貢献できる資質を身につけている。 知識・理解 「日本語日本文化」「国際文化」の2領域にわたる基礎知識、国際的な広い視野と教養をもち、深く考察できる技能を身につけている。 汎用的技能 多様化・複雑化する現代社会が抱える諸問題に人文学的観点から対応するための日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。 現代社会のさまざまな課題に対して、人文学分野の情報を収集・分析する技能と論理的な思考力を身につけている。 態度・志向性 書き言葉・話し言葉の両面を使いこなす国語力および社会人として求められるプレゼンテーション能力を土台に、さまざまな他者と共生・協働する力を身につけている。 統合的な学習経験と総合的思考力 学習経験と専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み新たな価値を創造する能力、諸問題に対して適切に判断・対処する力を身につけている。
DP				
CP		日本文化学部では、次の方針に基づきカリキュラムを構成する。 (1) 学修の基盤を形成するために、1年次に大学共通の総合科目、外国語科目、スポーツ科学、情報などに関する基本科目を配置する。 (2) 日本文化とは何かを理解するために、1・2年次に、日本文化の概説的科目並びに文学と歴史を中心とした学部基幹科目を配置する。 (3) 1年から4年次に、日本文化を形成する「歴史」「表現」に加えて、有形・無形に関わらず歴史的価値のある文化が蓄積した地域にある特性を生かした「京都文化」と、その影響を受けながら地域ごとに形成されていった民俗を学ぶ「地域・和食文化」の各科目群を配置する。 (4) 講義、演習、フィールドワークなどの授業形式を通じて、文献研究、アクティブラーニングや体験型学習を行う総合的な思考・判断力を培う選択科目を配置する。 (5) コミュニケーションなどの汎用的技能の習得や自立性を獲得するために、個々が現実の課題への関心を深めるゼミや文献研究、卒業論文演習などの学部必修科目を配置する。	ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる目標を達成するために、全学部生を対象とする共通教育科目と学部の専門教育科目を開設しています。また、カリキュラムに関しては、授業アンケート、単位修得状況等のデータをもとに、教育内容・方法の適正化を図っています。学部の専門教育では、基幹科目、発展科目、演習科目、関連科目を設定しナンバリング等を用いて、その体系性や構造を明示しています。 教育内容、教育方法、学修成果の評価については、以下のようになっています。 1. 教育内容 ①共通教育科目では、京都産業大学のカリキュラム・ポリシーに沿って、「人間科学教育科目」、「言語教育科目」、「体育教育科目」、「キャリア形成支援教育科目」に区分して授業を開講し、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標に近づくために必要な幅広い教養を身につけることを目的とする授業を行います。 ②専門教育科目では、1年次は基幹科目により、京都文化学の基礎を教授します。また、「京都文化フィールド演習」により、状況対応なども含め京都文化学の実践的手法を指導します。なお、秋学期には、京都文化コース、観光文化コース、英語コミュニケーションコースに分かれ、英語コミュニケーションコースでは、各種の英語科目により実践的な英語力を強化します。 2年次から発展科目の履修が開始します。「京都文化基礎演習」、「観光文化基礎演習」、「異文化コミュニケーション」	キリスト教精神・女性教育 キリスト教精神や女性の生き方についての学びや現代社会における豊かな人間性と奉仕の精神について学ぶことに加え、キリスト教と哲学・音楽などを関連させた専門科目を配置する。 知識・理解 専門科目として「日本語日本文化」「国際文化」の2領域から多彩な教養の学びとして知識・理解に関する科目を配置する。 汎用的技能 共通教育科目で学ぶ、世界の様々な言語の学修に加え、専門科目に書き言葉・話し言葉の両面を使いこなす国語力および社会人として求められるプレゼンテーション能力を身につけられる関係科目を配置する。 グループワークやフィールドワークを取り入れ、情報活用能力・論理的思考力を伴った問題解決力を身につけるための科目を配置する。 態度・志向性 多様な社会の中で人々と共生・協働するために必要な力をつけるため、専門科目として「日本語コミュニケーション I II III」をはじめ、各領域の専門性を高めることを目的としたグループワークを重視する科目を配置する。 統合的な学習経験と総合的思考力 1年次の「基礎演習」、2年次の「発展演習」、3年次の「専門演習」、そして4年次の「卒業研究」において自らの学習の成果をまとめ、創造的に発信する力を養成する。
AP		日本文化学部は、学位授与の方針に定める人材を養成するため、高等学校等における学習や経験を通じて、次のような基礎的な知識、思考・判断力、表現力等により主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し、探求しようとする意欲ある者を受け入れるものとし、多様な選抜方法を適切に実施する。 ア. 知識・理解 ・高等学校等の教育課程を幅広く修得し、学部の専門分野の修学に必要な国語と、社会もしくは外国語の基礎的な知識を理解している。 イ. 思考・判断 ・自ら学ぼうとする学修意欲を持ち、探求心によって身につけた知識・技能を基に、論理的に考え、協調性をもって他者へ客観的に説明しようとすることができる。 ウ. 関心・意欲・態度 ・日本文化を探究する関心を持ち、京都文化及び和食文化を理解する意欲にあふれ、その課題解決に向けて主体的に探求し、最後まで取り組むことができる態度を有している。 エ. 技能・表現 ・他者と積極的に関わることができ、他者に対して自分の考えを口頭・文章等によって表現することができる。	京都文化学部は、学部全体として、京都文化・日本文化に関わる学問分野における幅広い教養、伝統文化・芸術文化に習熟する豊かな感性、論理的思考力をもつ人材の養成を目的としています。これらの目的を達成するために、本学部では、京都文化を専門的に探究し得る人材の養成を目的として「京都文化コース」、観光の課題に学際的に取り組む力を有する人材の養成を目的として「観光文化コース」、および京都文化・日本文化を海外に発信できる英語運用能力をもつ人材の養成を目的として「英語コミュニケーションコース」を設置しています。 4年間の教育課程で全ての入学生が、以上の目的にかなった社会人に成長できるよう、本学部では、以下の養育をもつ人材を求めます。 1. 国際的視点から、日本文化における京都文化の意義、過去と現在の諸問題を学ぶために必要な基礎学力を有する人。 2. 京都文化・日本文化に関心をもち、自ら学ぶ強い意欲をもつ人。 3. ローカルな問題からグローバルな問題まで広い関心をもち、多様な人々と交流できる人。 なお、入学選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めた通り、多様な方法を用いて行います。	キリスト教精神・女性教育 (期待する能力) 世界の諸国・地域や日本の文化・言語について学ぶ意欲があり、他者とのコミュニケーションや社会との関わりの中で、自己の人格を高めることに興味・関心があり、努力しようとしている。 (選考方法) 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート 知識・理解 (期待する能力) 世界の諸国・地域や日本、およびその文化や言語について関心を持ち、高等学校卒業程度の教科書記載内容の持っている。 (選考方法) 調査書、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、資格検定、学力試験、レポート、面接 汎用的技能 (期待する能力) 高等学校卒業程度の国語力を持ち、書き言葉、話し言葉の両面でコミュニケーション力に磨きかけることに関心を持っている。 (選考方法) 調査書、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、資格検定、学力試験、レポート、面接 (期待する能力) 世界の諸国・地域や日本の文化・言語に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探求するための文献調査や情報検索の方法について、ある程度習得している。 (選考方法) 調査書、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、資格検定、学力試験、レポート、面接
教育内容	入試(競合校の要項等)時、入学手続費等の関係)	1.0	別紙 2.0~8.5	別紙 1.0
	学生納付金、奨学金制度などの修学支援の内容	1,375,000	1,185,500	1,380,000
就職支援の内容	予想される進路として、伝統産業に携わる企業(文化関連企業、伝統産業)、寺院関連業、食品関連企業、出版・マスコミ、観光業、ソフトウェア関連の情報産業や大学院進学といった文化の多様性に対応できる多様な業界・職種をめざすことが期待されます。また、中学校・高等学校の国語教員、図書館司書、博物館などの学芸員など、資格を活かした進路につくこともできます。	本学学生の気質は産業界からの高い評価を得ています。本学の就職支援では、独自システム(京都ナビ)やメール配信・オンラインイベントなど『デジタル』を活用したサポートと、全ての就職希望者と接点をつきめぬ『アナログ』のサポートの両方を大切にしています。昨今の変化の激しい就職業界でも最後まで諦めずに頑張る学生をサポートしています。就職先の業界としてはメーカー・金融・流通・公務など、幅広い業界に進路を決めたほか、地域的にも、京阪神の企業へは勿論のこと、東京に本社を置く企業や、学生の出身県の主要企業に至るまで、様々なフィールドやエリアへ就職しています。	学生の希望により、就職先の業界はさまざまです。免許や資格を取得して、国語科教員、日本語教員、図書館司書になる人がいます。また、日本の伝統文化に携わる仕事を志望し、京都の老舗和菓子店、呉服店に勤める人がいます。国際的な視野を身につけて、キャビンアテンダントや、ホテル、外資系の企業に勤める人がいます。さらに、企画力やコミュニケーション力を生かし、銀行、情報通信、不動産、販売、製造、コンサルタントと、幅広く仕事を選んでいます。より専門的な研究をすることを目指して、大学院に進学する人もいます。	
取得できる資格	中高一履免(国語)、学芸員、図書館司書	学芸員、司書(図書館)、司書教諭、小一履免(1履)、中一履免(社会)、高一履免(地理歴史)	中高一履免(国語)、日本語教員資格、社会福祉士主任任用資格、プレゼンテーション実務士資格、上級情報処理士資格、学校図書館司書教諭資格、図書館司書資格、学芸員資格	

総合校に対する本学の優位性 (他にはない特長、本学の強み)	大学	京都府立大	京都府立大	梅花女子大
総合校の選定理由	学部学科等	日本文化学部日本文化学科	国際文化学部人文科学日本文化専攻	文化表現学部日本文化学科
学校種別	大学 (私立)	40	160	30
定員規模	40	40	160	30
学問分野の類似性 (学校基本計画の学科系統分類表の中分類を参考に)	文学関係: 日本文化学	文学関係: 日本文化学	その他: 人文学	文学関係: 日本文化学
所在地の類似性 (所属組織の主たる学生募集地域に所在するもの)	京都府 (京都市)	京都府 (京都市)	京都府 (京都市)	大阪府 (茨木市)
学力層の類似性 (所属組織が想定する学力層と同程度のもの等)	41~46 (※既設)	41~46 (※既設)	41~48	37.5~40.0
その他 (取得できる学位)	学士 (日本文化学)	学士 (日本文化学)	学士 (文化)	学士 (人文学)
総合校に対する本学の優位性 (他にはない特長、本学の強み)	教育目的	○目的: 日本文化学部では、日本文化を構成する歴史文化、伝統文化、生活文化、和食文化、京都文化などの専門知識を、京都に蓄積された文化資源を活用し体験的に学び、日本文化を深く探求する力や新たな文化創造に寄与する能力を修得する。さらに、変容する現代社会において、共有される価値基準の体系である文化を学び、多様な価値観を理解し尊重する豊かな人間性と、提案力・実行力・継続力などを備えた職業人として社会に貢献できる人材を養成する。	○目的: 日本の「文学」、「歴史」、「社会」、「文化」を研究対象とし、日本を基点とした世界の文化と社会を多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。	○目的: グローバル社会の中で、日本が歩んできた歴史や育んできた文学を学び、そこから21世紀を生きるための新しい価値観や人生観を見いだすことには、大きな意義があります。この学科では、単に知識・教養を身につけるだけでなく、豊かな人間性を有し、国際的な視野に立って、自らの思いや考えを、書道、Webなどの多様な表現手段で、積極的に社会に発信していく能力をもつ人材を養成します。
DP	(知識・技能) 1. 語学や社会学、健康科学などの幅広い教養を身につけ、多様な価値観を尊重する豊かな人間性により対話を通じた相互理解ができる。 2. 日本の宗教や芸術に関する歴史学及び古典と現代的表現に関する文化・文学の専門的知識を有し、思想と言語の成り立ちが理解できる。 3. 伝統文化の教養としての京都文化や民俗と和食に関する地域文化の専門的知識を有し、京都の魅力を発見・発信することができる。 (思考力・判断力・表現力) 4. 講義による先行研究の理解や、演習、フィールドワークによる実体験など複数の研究方法を身につけ、課題解決の方法を提案・実行できる。 (主体性・協働性) 5. 少人数ゼミによる他者の意見を受容する力を有し、文献資料の分析を通じて問題意識を醸成し、卒業論文の執筆を通じて、自らの将来を構想することができる。	国際文化学部の教育研究目的は、ヒト、モノ、情報が国境を越えて複雑に絡み合う現代社会の多様な課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現に寄与できる人間の育成です。アフリカ・アジアや日本・京都を中心にグローバル、ローカル双方のアプローチから社会課題を理解し、地球規模の視野を持ち、体験的な学修を通して個別のテーマ研究を深めます。卒業時に身につけているべき要素を以下の5つとし、卒業要件を満たせばこれを身につけたものと認め、学位を授与します。 5つの要素 自身をとりまく社会と、シティズンシップ及びヒューマンズに関する基本的な知識と理解がある。 (知識と理解 knowledge & understanding) グローバル化による社会的な現象を、複数の視点やアプローチから考察することができる。 (視点と考察 diverse perspective & observation) グローバルスタディーズ、人文学のいずれかの領域の専門知識を持ち、特定のテーマ研究を深め他者に伝えることができる。 (研究と表現 research & expression) 多様な他者との違いを認め、協働して課題解決に取り組むことができる。 (他者理解と協働 mutual understanding & collaboration) より良い社会を創る意欲を持ち、学びを応用して社会の課題解決に自ら取り組むことができる。	学位が定めたカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。 (1)歴史や文学、日本語や日本文化についての知識・観察力・調査力・問題発見解決力・論理的思考力。 (2)日本語を中心とするコミュニケーション力・表現力。 (3)国語や書道を教授できる知識・技術・指導力。	
CP	日本文化学科では、次の方針に基づきカリキュラムを構成する。 (1) 学修の基礎を形成するために、1年次に大学共通の総合科目、外国語科目、スポーツ科学、情報などに関する基本科目を配置する。 (2) 日本文化とは何かを理解するために、1・2年次に、日本文化の概観的科目並びに文学と歴史を中心とした学部基幹科目を配置する。 (3) 1年から4年次に、日本文化を形成する「歴史」「表現」に加えて、有形・無形に関わらず歴史的価値のある文化が蓄積した地域に特有の特性を生かした「京都文化」と、その影響を受けながら地域ごとに形成されていった民俗を学ぶ「地域・和食文化」の各科目群を配置する。 (4) 講義、演習、フィールドワークなどの授業形式を通じて、文献研究、アクティブラーニングや体験型学習を行うことで総合的な思考・判断力を培う選択科目を配置する。 (5) コミュニケーションなどの汎用的技能の習得や自立性を獲得するために、個人が現実の課題への関心を深めるゼミや文献研究、卒業論文演習などの学部必修科目を配置する。	国際文化学部は、学位授与の方針を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に構成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせる授業を展開します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。国際文化学部教育科目の教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。 1. 教育内容 学部専門教育科目では、1年次は、基礎演習を通して基礎的な人文学の研究方法を学びつつ、各学科の基礎知識と学修意欲の選択・構築を通して初歩的な理解を深め、特にグローバルスタディーズ学科では海外展開フィールドワークを体験することによって、グローバル/ローカル双方の視点を獲得させます。 2年次以降は専攻に分かれ、各専門分野の重要な研究領域とともに、専門的研究成果を知ることで、専門的知識を系統立てて獲得させます。また、少人数の演習形式の授業を通して、各専門分野の高度な研究方法・考察能力を修得させます。 3年次前半は国内外のフィールドでの主体的な調査・研究に参画する必修のプログラムを修習することによって社会の課題を解決するための実践的な力を獲得させます。後半では各専門分野に関する講義を通して学修を深化させるとともに、特に人文学科では各専門領域の基本文献を精読することによって、既得の研究成果に対する批判的な分析能力と総合的な判断能力を修得させます。 最終年次は、グローバル/ローカル双方の視点のもとで、社会課題の解決法を自ら着想できる発想力、それを実践する行動力、その実践の中で他者と積極的に関わろうとする協働力が獲得できているかを評価する機会として卒業論文とその内容に関する研究発表を必修とします。これにより、実践的かつ主体的に研究・調査を計画・遂行することになり、その成果を社会に還元する能力を養成する技術と方法を身につける。	日本の歴史や文学、日本語を基礎として、論理的な思考と多様な表現力を備えて、社会に貢献できる人材を養成するため、次の実施方針に基づきカリキュラムを構成する。 (1)「歴史・観光学コース」には、主に日本の歴史や日本文化に関する幅広い知識を身につけ、観察力・調査力・問題発見解決力・論理的思考力を養成する科目を置く。 (2)「文学・総合コース」には、日本文学に関する幅広い知識を身につけ、日本語の文章表現力を養成する科目を置く。 (3)「国語・書道教養養成コース」には、国語・書道を教授できる知識・技術・指導力を養成する科目を置く。 (4)「トップセクターコース」には、上級秘書士の資格取得など、就業力の向上を図るための科目を置く。 (5)各コースには、専門科目を集中して学ぶことができるだけでなく、他のコースの科目を組み合わせることで、内容を充実させることができるように科目を置く。	
AP	日本文化学科は、学位授与の方針に定める人材を養成するため、高等学校等における学修や経験を通じて、次のような基礎的な知識、思考・判断力、表現力等により主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し、探求しようとする意欲ある者を受入れるものとし、多様な選抜方法を適切に実施する。 ア. 知識・理解 ・高等学校等の教育課程を幅広く修得し、学科の専門分野の修学に必要な国語と、社会もしくは外国語の基礎的な知識を理解している。 イ. 思考・判断 ・自ら学ぼうとする学修意欲を持ち、探求心によって身につけた知識・技能を基に、論理的に考え、協働性をもって他者へ客観的に説明しようすることができる。 ウ. 関心・意欲・態度 ・日本文化を探求する関心を持ち、京都文化及び和食文化を理解する意欲にあふれ、その課題解決に向けて主体的に探求し、最後まで取り組むことができる態度を有している。 エ. 技能・表現 ・他者と積極的に関わることができ、他者に対して自分の考えを口頭・文章等によって表現することができる。	領域1 知識・理解・技能 高等学校の教育課程における基礎学力・技能を有している 領域2 思考・判断・表現 身近な問題について、知識や情報をもとに筋道を立てて思考できる 他者の意見を理解し、自分の考えをわかりやすく表現できる 領域3 関心・意欲・態度 新しい領域や多様な人々に対して先入観なく向き合い、生涯にわたって学修を継続する意欲がある 学びたい学部・学科の知識や経験を社会で活かしたいという目的意識を持っている	学位の特長に於いて、次のような能力・意欲を持った学生を求め選抜を行います。 (1)本学科は、国際的な視野に立ち、自らの思いや考えなどを積極的に社会に発信していく意欲を持った学生や国語・書道教育を志す学生を求めています。 (2)学科の学びを基礎として日本語や日本文学、日本の歴史や文化の知識・教養を重視するので、入学前からこれらに関連する教科書を十分に学習しておいてください。 (3)筆記試験においては漢字や語彙の基礎知識や読解力、小論文では読解力と文章力、面接では高等学校までにかかわった学修や活動について適切に説明できる力を高く評価します。	
教育内容		別紙	別紙	
入試 (総合校の要項等) 入学手続きの要項	1.0	1.0~1.5	1.0~1.5	
学生納付金、奨学金制度などの修学支援の内容	1,375,000	1,336,000	1,460,000	
就職支援の内容	予想される進路として、伝統産業に携わる企業 (文化関連企業、伝統産業)、寺院関連業、食品関連企業、出版・マスコミ、観光業、ソフトウェア関連の情報産業や大学院進学といった文化の多様性に対応できる多様な業界・職種をめざすことが期待されます。また、中学校・高等学校の国語教員、図書館司書、博物館などの学芸員など、資格を活かした進路につくこともできます。	企業に就職 (外資系企業・メーカー、貿易、販売・流通、旅行・観光、サービス、IT・通信 関連など) / 通訳・翻訳業 / NGO・NPO関連団体 / ジャーナリスト / 編集者 /ライター / 小説家 / 博物館学芸員 / 図書館司書 / 学校教員 (国語、社会) / 金融機関に就職 (銀行、信用金庫) / など	※大学ポータルより1年生の「BAIKAセミナー」、「初年次セミナー I」、2年生の「問題発見・解決セミナー」、「キャリアデザイン」などの授業を通じて就業力養成を行うとともに、各学科においてもキャリア形成のための授業を配置し、ガイダンスを実施しています。また就職活動では、独自のプログラムとして、3年生に週1回、年間30回の「就活ゼミ」を実施しています。就職活動を行うに当たっての心構えや就職活動の進め方、自己分析、仕事探しのポイント、就職活動時のマナー、筆記試験対策、企業研究、求人の見方、履歴書・エントリーシートの書き方、面接・グループディスカッション対策、内定先就職相談など多くのプログラムが用意されています。学科単位に就職相談員を配置し、「個人面談」を中心に学生の適性にあわせてサポートを行います。プロの就職相談員が、就職先とのベストマッチを目指して「なりたい自分」を実現するため親身にサポートします。他にも、インターンシップや学内合同企業説明会・選考会、人気企業内定を目指す学生のための特別プログラムを2年生から開催するなど、就職活動で成功するための支援を行う国内旅行管理主任者、中高一種免(国語)、高校一種免(書道)、司書(図書館)、学校図書館司書教諭、情報処理士	
取得できる資格	中高一種免(国語)、学芸員、図書館司書	高一種免(国語・地理歴史・公民)※、中一種免(国語・社会)※、図書館司書、博物館学芸員		

資料 12 :
競合校比較 (教育内容)

京都産業大	<p>教育内容：</p> <p>①共通教育科目では、京都産業大学のカリキュラム・ポリシーに沿って、「人間科学教育科目」、「言語教育科目」、「体育教育科目」、「キャリア形成支援教育科目」に区分して授業を開講し、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標に近づくために必要な幅広い教養を身に付けることを目的とする授業を行います。</p> <p>②専門教育科目では、1年次は基幹科目により、京都文化学の基礎を教授します。また、「京都文化フィールド演習」により、状況対応なども含め京都文化学の実践的手法を指導します。なお 秋学期には、京都文化コース、観光文化コース、英語コミュニケーションコースに分かれ、英語コミュニケーションコースでは、各種の英語科目により実践的な英語力を強化します。</p> <p>2年次から発展科目の履修が開始します。「京都文化基礎演習」、「観光文化基礎演習」、「異文化コミュニケーション基礎演習」によって各自の研究の基盤となる力を養います。英語コミュニケーションコースでは、留学も意識し、各種の英語科目により実践的な英語力を強化します。</p> <p>3年次は、「京都文化演習Ⅰ」、「観光文化演習Ⅰ」、「異文化コミュニケーション演習Ⅰ」で専門分野における研究を本格的に始め研究遂行に必要な広い知識を身に付け、4年次に卒業レポート等を作成できる力を養成します。また、実践的・専門的なプレゼンテーション・コミュニケーション能力を養成します。</p> <p>4年次は、「京都文化演習Ⅱ」、「観光文化演習Ⅱ」、「異文化コミュニケーション演習Ⅱ」で卒業レポート等を完成させ、卒業後も、京都文化の研究、京都文化・日本文化の海外発信などへの意欲を保持し、地域社会・国際社会に貢献するため、常に努力できる人間の教育を目標とします。</p>
-------	--

人間科学教育科目の学び

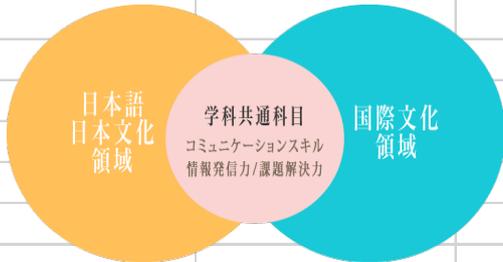


文化学部京都文化学科 カリキュラム・マップ



京都ノートルダム女子大 国際日本文化学科のカリキュラムでは、多様な講義科目・フィールドワークを通じて、文化に関する知識・理解を深めるとともに、学んだことを発信する機会を多数用意しています。1年次から2年次にかけて、日本語力を身につける・高める授業として、日本語コミュニケーションを履修します。また、1年次ゼミ基礎演習、2年次ゼミ発展演習、3年次ゼミ専門演習、4年次ゼミ卒業研究と、各学年少人数ゼミを用意し、一人一人が研究内容をまとめ、プレゼンテーションを行う場を設けています。

国際日本文化学科のカリキュラム（授業科目の構成）は、日本語日本文化領域、国際文化領域の2つに分かれています。日本と世界をつなぎ、相互に理解する力を身につけることを目指すため、どちらの領域の科目も修得することができます。日本文化を専門とする場合も、日本文化と海外の文化の比較を通じて、そのつながりを認識できるようになります。また、国際日本文化学科に設けられている資格は、どちらの領域でも取得できます。さらに、コミュニケーションスキルや情報スキルに関する授業は、どちらの領域を専門とする場合にも必要となり、日本文化を世界に発信したり、世界から日本に訪れた方と交流する時などに役立てることができます。



資格・プログラム

話しことばプログラム・国際観光プログラム
 国語科教諭免許・日本語教員・図書館司書・博物館学芸員
 情報処理士・文化交流創生コーディネーター

両方の領域の科目を自由に履修できます。学科共通分野を専門に学ぶこともできます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	日本語コミュニケーションⅡ	日本語コミュニケーションⅢ	専門演習ⅠⅡ	卒業研究
専門演習・卒業研究	基礎演習ⅠⅡ	発展演習ⅠⅡ		
フレキシブル単位ゾーン*	※フレキシブル単位ゾーンとは、各領域の学びを自由に組み合わせ、共通教育科目や他学科・課程科目の選択の幅を広げ、情報処理の得意な国語科教員、コミュニケーション能力の高い図書館司書や博物館学芸員など、自分だけの目標を実現するための学びのしくみです。			
日本語 日本文化領域	国文学概論 ● 国語学概論 ● 日本の歴史と文化 ● 漢学入門			
	● 日本古典文学講義 ● 日本近代文学講義 ● 日本語文法 ● 日本語研究 ● 日本文学特講 ● 日本伝統文化論 ● 現代出版事情	● 京都学 ● 京都資料論 ● 古文書読解 ● 書写研究 ● 日本美術史 ● 日本教育入門 ● 日本語の朗読	● 漢文学特講 ● 子どもの読書とメディア ● 昔話とストーリーテリング ● 出版文化史 ● 外国語としての日本語 ● 京都フィールドワーク研究 ● 異界・妖怪学	● 物語舞台論 ● 日本思想 ● 現代ジャーナリズム入門 ● スピーチの基礎
	● 日本年中行事論 ● 日本美術特講			
	● 博物館情報・メディア論			
国際文化領域	● 比較文化概論 ● 国際関係論 ● 哲学とキリスト教 ● 多文化理解 ● キリスト教文化			
	● 博物館概論 ● キリスト教とことば			
	● 比較文学講義 ● クールジャパン論 ● 日中近代想像比較論 ● アジア文化論 ● 中東文化論	● アラブ・イスラーム文化論 ● アラビア語の世界 ● ヨーロッパ文化論 ● 西洋美術史ⅠⅡ ● 西洋美術史特講	● 西洋思想史 ● 音楽文化概論 ● 音楽表現学 ● 現代音楽事情 ● キリスト教音楽特講	● インターネット社会論 ● 図書館情報技術論 ● 情報メディアの文化とリテラシー ● メディアコンテンツ表現法 ● 鑑字活動と子どもの権利
	● 観光学概論 ● 観光文化論 ● 言語文化概論 ● 国際日本文化論			
学科共通 選択科目	● プレゼンテーション概論 ● プレゼンテーション演習		● 観光ビジネス論 ● 地域ツーリズム論 ● ホスピタリティ・スキル	
	● ビジネスマナー演習 ● フィールド実践演習			
教職課程科目	● 教育原論 ● 教師論 ● 教育社会学 ● 発達と学習の教育心理 ● 国語科教育法ⅠⅡ ほか	● 教諭論 ● 教育社会学 ● 発達と学習の教育心理 ● 国語科教育法ⅠⅡ ほか	● 教育の方法及び技術 ● ICT活用教育 ● 介護等体験 ● 国語科教育法Ⅲ・Ⅳ	● 中等教育実習事前事後指導 ● 中等教育実習ⅠⅡ ● 教職実践演習(中・高) ほか
資格関連科目	● 上級情報処理士資格に関する科目 ● 図書館司書資格に関する科目 ● 学校図書館司書教諭資格に関する科目 ● 日本語教員資格に関する科目 ● 博物館学芸員資格に関する科目 ● プレゼンテーション実務士資格に関する科目			
学際教育科目	他学部・他学科・課程科目の履修も可能/海外文化研修			
共通教育科目	キリスト教/キリスト教音楽概論/キリスト教と日本文化/キリスト教美術/ノートルダム/女性とライフキャリア/キャリア形成ゼミ/短期インターンシップ/インターンシップ/日本文学/外国文学/歴史の中の女性/心理学入門/暮らしの経済学/ボランティア概論/子育てとワークライフバランス/身近な自然科学/情報の科学と倫理/身近な医学/英語理解ⅠⅡ/英語表現ⅠⅡ/日常の英会話/旅行の英会話/ドイツ語/フランス語/スペイン語/アラビア語/中国語/コリア語/海外研修/健康スポーツ演習/文書作成法ⅠⅡ/SNSコミュニケーションスキル/情報演習Ⅰ ほか			

*履修科目は4年間にわたり、日本語日本文化領域、国際文化領域の両方から履修できます。 ※科目名は変更の可能性あります。

京都精華大

学部専門教育科目では、1年次には、基礎演習を通して基礎的な人文系の研究方法を学びつつ、各学科の基礎講義と学科共通の選択講義を通じて初歩的な理論を理解し、特にグローバルスタディーズ学科では海外短期フィールドワークを体験することによって、グローバル/ローカル双方の視点を獲得させます。2年次以降は専攻に分かれ、各専門分野の重要な研究に触れるとともに、最新の研究成果を知ることによって、専門的知識を系統立てて習得させます。また、少人数の演習形式の授業を通じて、各専門分野の高度な研究手法・考察能力を体得させます。

3年次前半は国内外のフィールドでの主体的な調査・研究に遂行する必修のプログラムを経験することによって社会の課題を解決するための実践的な力を獲得させます。後半では各専門分野に関する講義を通して学識を深化させるとともに、特に人文学科では各専門領域の基本文献を精読することによって、既存の研究成果に対する批判的な分析能力と総合的な判断能力を習得させます。

最終年次には、グローバル/ローカル双方の視点のもとで、社会課題の解決法を自ら着想できる発想力、それを実践する行動力、その実践の中で他者と積極的に関わろうとする協働力が習得できているかを確認する機会として卒業論文とその内容に関する研究発表を必修とします。これにより、実践的かつ主体的に研究・調査を計画・遂行するとともに、その成果を社会に向けて学術的に表現する技法と作法を養います。

カリキュラム(教育課程)の構成

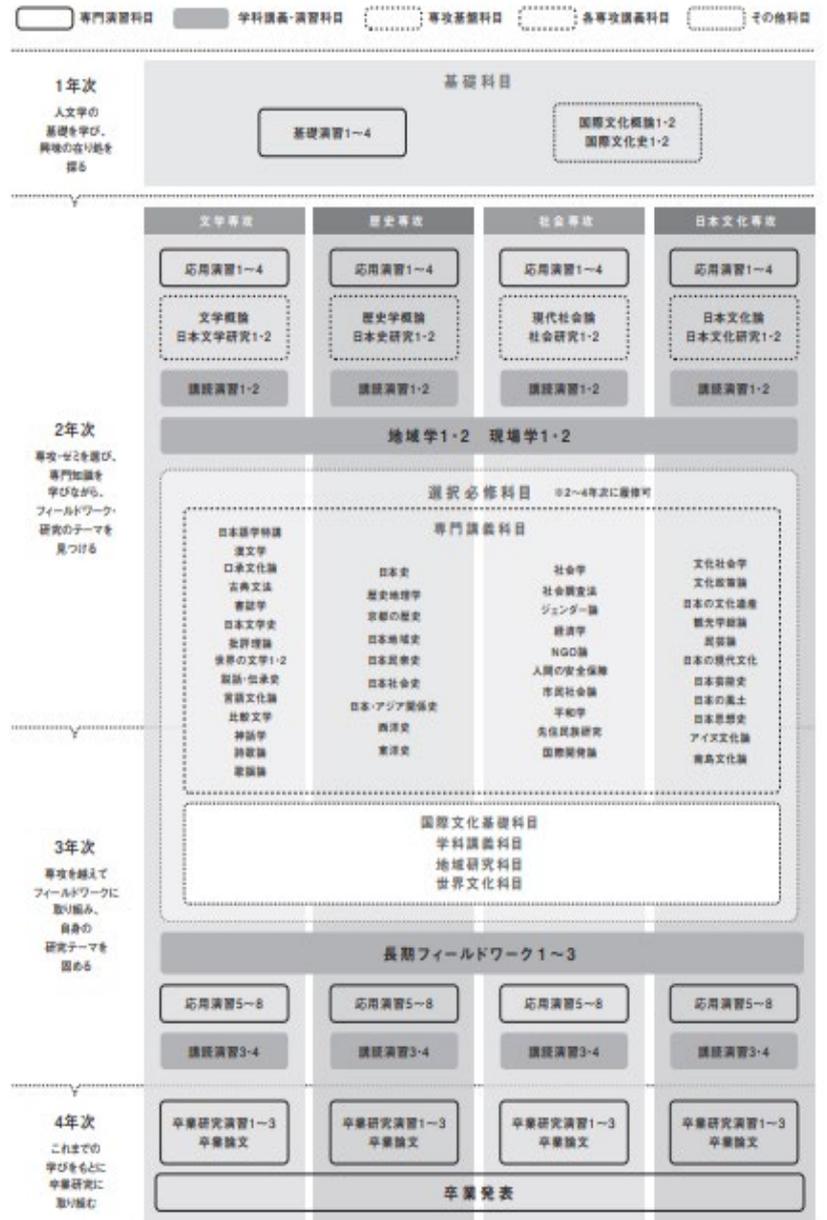
2017年度以降入学生のカリキュラム(教育課程)は

5学部の学生が共通で履修する「**全学共通教育科目**(全学教養科目、全学専門科目)P.67~」と学部、学科ごとに編成された「**学部専門教育科目** P.76~」に分けて開設されています。

カリキュラム 国際文化学部

科目区分	履修年次				取得単位数	卒業に要する単位数(計)
	1年次	2年次	3年次	4年次		
全学共通教育科目 (SEEK) P.67~	全学教養科目 P.67~				30単位以上	124単位以上
全学専門科目 P.70~	副専攻	各科目群の講義(概論)科目	各科目群の講義・演習科目	演習・実習科目	14単位以上	
学部専門教育科目(主専攻) P.76~	コラボレーション	コラボレーション概論			80単位以上	

国際文化学部 人文学科 カリキュラムマップ



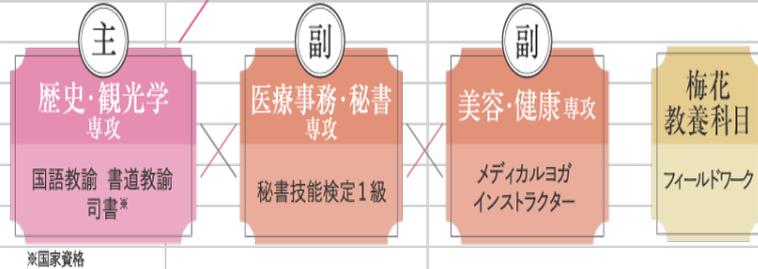
梅花女子大

日本の歴史や文学、日本語を基礎として、論理的な思考と多様な表現力を備えて、社会に貢献できる人材を育成するため、次の実施方針に基づきカリキュラムを編成する。

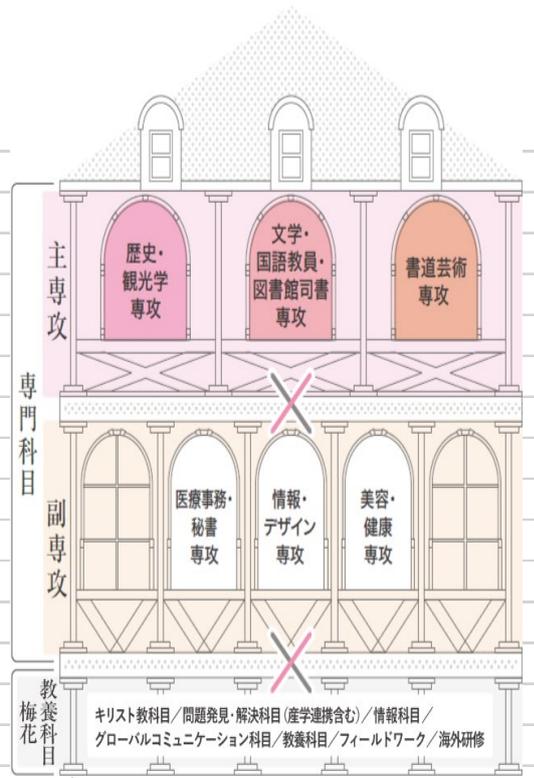
1. 「歴史・観光学コース」には、主に日本の歴史や日本文化に関する幅広い知識を身につけ、観察力・調査力・問題発見解決力、論理的思考力を育成する科目を置く。
2. 「文学・絵本コース」には、日本文学に関する幅広い知識を身につけ、日本語の文章表現力を育成する科目を置く。
3. 「国語・書道教員養成コース」には、国語・書道を教授できる知識・技術・指導力を育成する科目を置く。
4. 「トップセクレタリーコース」には、上級秘書士®の資格取得など、就業力の向上を図るための科目を置く。
5. 各コースには、専門科目を集中して学ぶことができるだけでなく、他のコースの科目を組み合わせて学ぶことで、内容を充実させることができるように科目を置く。

例えば
日本文学学科の場合

主専攻 × 副専攻 × 梅花教養科目 キャリアイメージ



*国家資格



日本文学学科 専門科目

◆必修科目 12 単位・選択必修科目 10 単位以上の要件を満たした上で、合計 70 単位以上修得すること。

分類	授業科目名	単位 / 履修区分			授業形態	配当年次				1	2	3	4	1	2	3	4	備考	
		必修	選択必修	選択		1	2	3	4										
基本科目	日本文学入門	2			講義														
	日本語学入門	2			講義														
	日本文学の歴史(古典)	2			講義														
	日本文学の歴史(近代)	2			講義														
	絵本の歴史	2			講義														
	中国文学の歴史	2			講義														
	現代の日本語	2			講義														
	歴史を学ぶ	2			講義														
	作品を学ぶ(古典)	2			演習														
	作品を学ぶ(近現代)	2			演習														
	絵本を学ぶ	2			演習														
	日本語演習Ⅰ	2			演習														
	日本語演習Ⅱ	2			演習														
	日本文学演習(古典)Ⅰ	2			演習														
	日本文学演習(古典)Ⅱ	2			演習														
	日本文学演習(近現代)Ⅰ	2			演習														
	日本文学演習(近現代)Ⅱ	2			演習														
	児童文学・絵本演習Ⅰ	2			演習														
	児童文学・絵本演習Ⅱ	2			演習														
	歴史文化フィールドワーク	2			演習														
観光フィールドワーク	2			演習															
英文を学ぶ	2			講義															
書写研究	2			講義															
書道の基礎(書免)	2			演習															
専門演習Ⅰ	2			演習															
専門演習Ⅱ	2			演習															
卒業演習Ⅰ	2			演習															
卒業演習Ⅱ	2			演習															
選択科目	日本の文化1	2			講義														
	日本の文化2	2			講義														
	日本の文化3	2			講義														
	日本の文化4	2			講義														
	関西の歴史と文化	2			講義														
	歳と歴史	2			講義														
	アニメで学ぶ日本の歴史	2			講義														
	マンガで学ぶ日本の歴史と文学	2			講義														
	近現代の小説	2			講義														
	日本語演習Ⅲ	2			演習														
	日本文学演習(古典)Ⅲ	2			演習														
	日本文学演習(近現代)Ⅲ	2			演習														
	児童文学・絵本演習Ⅲ	2			演習														
	日本史演習	2			演習														
	地域観光学演習Ⅰ	2			演習														
	地域観光学演習Ⅱ	2			演習														
	観光ビジネス演習Ⅰ	2			演習														
	観光ビジネス演習Ⅱ	2			演習														
	Web出版	2			演習														
	書道の基礎(書免)Ⅰ	2			演習														
書道の基礎(書免)Ⅱ	2			演習															
書道Ⅰ	2			演習															
書道Ⅱ	2			演習															
書道Ⅲ	2			演習															
書道Ⅳ	2			演習															
書道の歴史Ⅰ	2			講義															
書道の歴史Ⅱ	2			講義															
書道研究Ⅰ	2			講義															

日本文学学科 専門科目

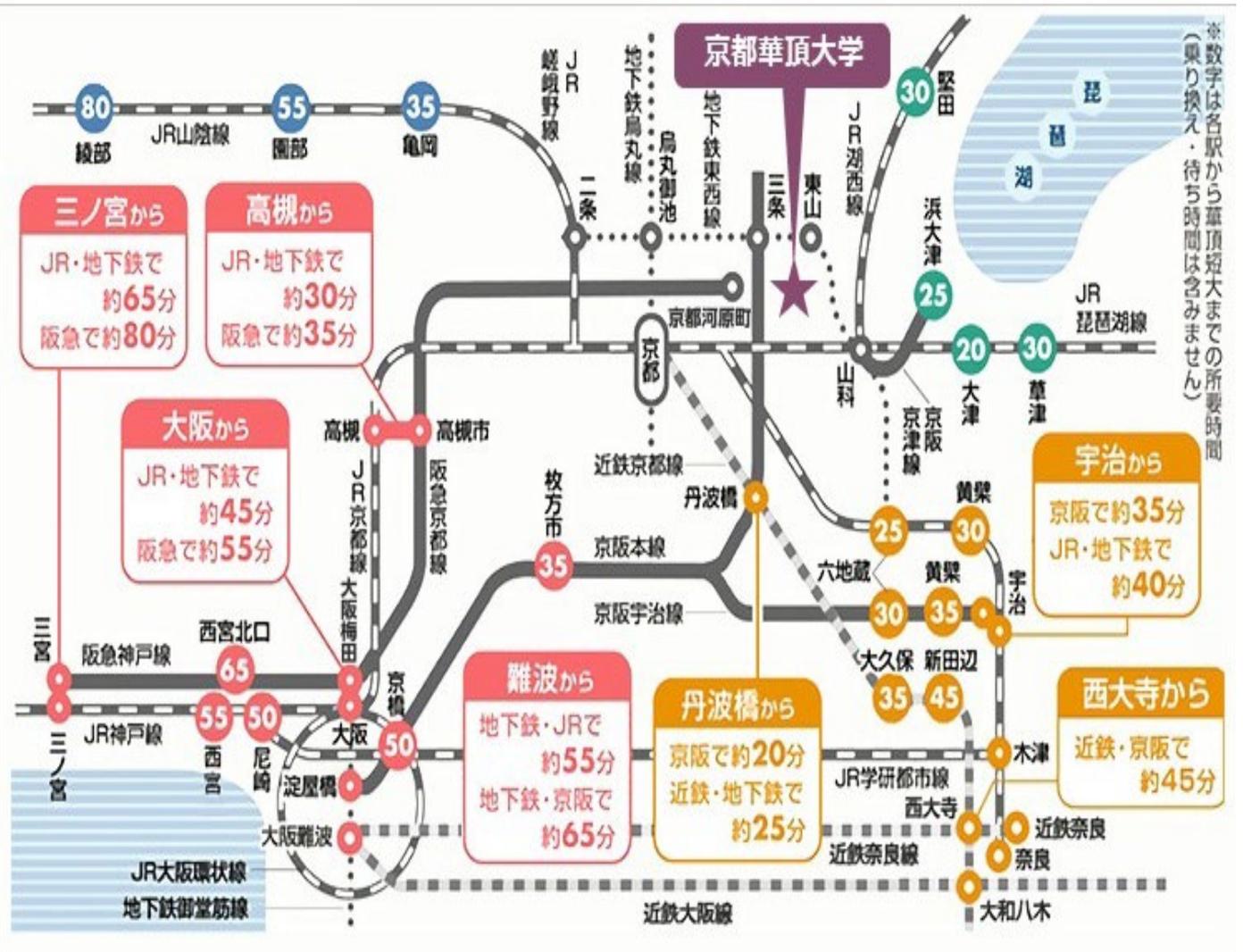
◆必修科目 12 単位・選択必修科目 10 単位以上の要件を満たした上で、合計 70 単位以上修得すること。

分類	授業科目名	単位 / 履修区分			授業形態	配当年次				1	2	3	4	1	2	3	4	備考	
		必修	選択必修	選択		1	2	3	4										
教養科目	書論研究Ⅱ			2	講義														
	秘書学総論			2	講義														上級秘書士® 取得希望者は必修
	秘書実務1			2	演習														
	秘書実務2			2	演習														
	秘書実務1			2	演習														
資格関係科目	硬筆書写			2	演習														
	国語科教育法Ⅰ			2	講義														「国語」教職課程履修者のみ履修可
	国語科教育法Ⅱ			2	講義														
	国語科教育法Ⅲ			2	講義														
	国語科教育法Ⅳ			2	講義														
卒業論文・卒業制作・卒業制作	書道科教育法Ⅰ			2	講義														「書道」教職課程履修者のみ履修可
	書道科教育法Ⅱ			2	講義														
	卒業論文・卒業制作・卒業制作			6															

資料 13 :
競合校との初年度学生納付金比較 (2023 年度)

大学名	学部・学科名	初年度学生納付金等			
		入学金	授業料等	初年次納付金合計	
文部科学省調査 (私立大600校平均・2023年度)		240,806円	1,236,534円	1,477,339円	
京都華頂大学	日本文化学部日本文化学科	200,000円(予定)	1,175,000円(予定)	1,375,000円(予定)	
2023年度	京都産業大学	文化学部国際文化学科	200,000円	985,500円	1,185,500円
	京都ノートルダム女子大学	国際言語文化学部国際日本文化学科	200,000円	1,198,000円	1,398,000円
	京都精華大学	国際文化学部人文学科日本文化専攻	200,000円	1,136,000円	1,336,000円
	梅花女子大学	文化表現学部日本文化学科	250,000円	1,239,010円	1,489,010円

資料 14 :
本学への交通アクセス・マップ



資料 15 :
競合校の入学志願動向(2019～2023 年度)

大学名	学部学科名	年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
京都産業大学	文化学部 京都文化学科	2019	100	1,938	1,856	236	102	19.4	102%
		2020	100	1,601	1,476	380	104	16.0	104%
		2021	150	2,043	1,946	568	152	13.6	101%
		2022	150	2,122	1,927	692	173	14.1	115%
		2023	150	1,887	1,778	584	151	12.6	101%
京都ノートルダム女子大学	国際言語文化学部 国際日本文化学科	2019	50	139	128	119	52	2.8	104%
		2020	50	216	210	160	72	4.3	144%
		2021	50	117	109	93	41	2.3	82%
		2022	50	83	76	71	32	1.7	64%
		2023	50	26	26	25	18	0.5	36%
京都精華大学	国際文化学部 人文学科	2019	—	—	—	—	—	—	—
		2020	—	—	—	—	—	—	—
		2021	160	252	244	215	158	1.6	99%
		2022	160	234	221	191	118	1.5	74%
		2023	160	156	155	131	87	1.0	54%
梅花女子大学	文化表現学部 日本文化学科	2019	—	—	—	—	—	—	—
		2020	30	218	214	67	30	7.3	100%
		2021	30	156	144	64	37	5.2	123%
		2022	30	152	143	89	40	5.1	133%
		2023	30	61	58	48	24	2.0	80%
4 大学合計		2019	150	2,077	1,984	355	154	11.1	103%
		2020	180	2,035	1,900	607	206	9.2	114%
		2021	390	2,568	2,443	940	388	5.7	99%
		2022	390	2,591	2,367	1,043	363	5.6	93%
		2023	390	2,130	2,017	788	280	4.0	72%

資料 16 :
浄土宗宗立・宗門校(共学・女子のみ)

高校名	所在地	共学区分	女子生徒数
1 酒田南高等学校	山形県酒田市浜田一丁目3-47	共学	普・女 237 家・女 51
2 樹徳高等学校	群馬県桐生市錦町一丁目1-20	共学	普・女 433
3 正智深谷高等学校	埼玉県深谷市上野台369	共学	普・女 486
4 淑徳与野高等学校	埼玉県さいたま市中央区上落合5-19-18	女子	普・女 1,061
5 淑徳巣鴨高等学校	東京都豊島区西巣鴨二丁目22-16	共学	普・女 753
6 淑徳高等学校	東京都板橋区前野町五丁目14-1	共学	普・1,190
7 淑徳SC高等部	東京都文京区小石川三丁目14-3	女子	普・女 124
8 東海学園高等学校	愛知県名古屋市天白区中平二丁目901	共学	普・女 642
9 華頂女子高等学校	京都府京都市東山区林下町3-456	女子	普・女 279
10 上宮高等学校	大阪府大阪市天王寺区上之宮町9-36	共学	普・女 698
11 上宮太子高等学校	大阪府南河内郡太子町太子1053	共学	普・女 210
12 鎮西高等学校	熊本県熊本市中央区九品寺三丁目1-1	共学	普・女 294
13 真和高等学校	熊本県熊本市中央区九品寺三丁目1-1	共学	普・女 242

京都華頂大学 御中

日本文化学部 日本文化学科 (仮称・設置構想中) 学生確保アンケート調査

【高校生の入学意向】 調査結果報告書

2024年3月
株式会社リクルート
株式会社アンド・ディ

目次

▶ 調査概要	2
▶ 調査結果	3
・ 入学意向まとめ	4
・ 有効回答(4,696件)の単純集計	6

【調査概要】

・ 調査目的

京都華頂大学が計画している「日本文化学部 日本文化学科」の設置(2025年4月)について、周辺エリアを中心とした高校の2年生の女子に受験意向・入学意向をアンケート調査し、学生確保の見通しを確認する。

・ 調査概要

	高校留置調査	大学保有リストDM調査	リクルートリーフレットDM調査
調査方法	調査対象校に事前に調査協力を依頼し、応諾を得た対象校へ調査票を送付。ホームルームなど教室で配布・回収。	オープンキャンパス参加、資料請求等で京都華頂大学および華頂短期大学総合文化学科と接触のあった高校2年生女子に対し、リーフレットとアンケート案内を送付。WEB画面にて回答。	リクルートスタディサプリー会員から、希望する学問分野や居住エリアを考慮して対象者を選定し、アンケート案内を送付。WEB画面にて回答。
調査対象	京都華頂大学への受験実績、入学実績がある高校の2年生の女子	京都華頂大学および華頂短期大学と接触のあった高校2年生の女子	リクルートスタディサプリー会員の高校2年生の女子
調査回答高校	別添資料を参照のこと		
調査期間	2023年11月13日(月)～ 2024年2月1日(木)	2024年1月26日(金)～ 2月11日(日)	2024年1月24日(水)～ 2月9日(金)
有効回答数	62校 / 4,220件 ※重複回答者を除く	354件 ※重複回答者を除く	122件 ※重複回答者を除く
調査機関	株式会社 アンド・ディ		
報告書作成	株式会社 リクルート、株式会社 アンド・ディ		

▶ 新設組織の概要

- ・ 日本文化学部 日本文化学科：入学定員40名

<調査結果>

入学意向まとめ①

- 「日本文化学部 日本文化学科」(入学定員40名)へ、第一志望として受験を希望する入学意向者は20人。第二志望として受験・入学意向者は36人。第三志望以降として受験・入学意向者は165人。

高校卒業後に大学進学を希望する3,124人(有効回答全体の66.5%)(※1)のうち、

- 興味のある学問分野を複数回答で尋ねたところ、「日本文化学部 日本文化学科」の関連分野のいずれかひとつ以上を選択したのは1,386人(29.5%)であった。
- 上記のうち、希望する学校の設置者として「私立」を選択したのは1,233人(26.3%)であった。
- さらに、「日本文化学部 日本文化学科」への受験意向を尋ねたところ、「第一志望として受験する」と回答したのは24人、入学意向を尋ねたところ、「入学する」と回答したのは20人であった。
- また、第二志望として受験し、入学すると回答したのは36人、第三志望以降として受験し、入学すると回答したのは165人であった。
- 受験意向あり(「第一志望として受験する」～「第三志望以降として受験する」と回答した)のは275人(5.9%)、さらに、入学意向あり(※2)と回答したのは221人(4.7%)であった。

(※1) 文中の()内の%はすべて有効回答全体に対する割合

(※2) 入学意向あり:「第一志望として受験する」と回答した場合は「入学する」、「第二志望として受験する」と「第三志望以降として受験する」とした場合は「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」



※表内の%は四捨五入のため、構成比の合計値は100%にならない場合がある。

入学意向まとめ②

- 第一志望として受験・入学意向者の高校所在地は、京都府が4人(20.0%)、周辺エリア(滋賀県・大阪府・兵庫県・奈良県)が7人(35.0%)、京都への流入が多いエリア(福井県・三重県・愛知県)が3人(15.0%)、宗門校のあるエリアとその他の地域で6人(30.0%)であった。
- また、調査手法の内訳をみると、第一志望として受験・入学意向者20名のうち、「大学保有リストDM調査」からの回答が10人(50.0%)、附属高校、宗門校、その他受験・入学実績のある高校を対象とした「高校留置調査」からの回答が合計で9人(45.0%)であった。

(人)

	全体	高校所在地														
		京都府	滋賀県	大阪府	兵庫県	奈良県	福井県	愛知県	三重県	山形県	群馬県	埼玉県	東京都	岡山県	熊本県	その他地域
入学意向者	N 20	4	2	4	0	1	2	1	0	0	0	0	2	1	0	3
(第一志望受験)	% 100.0	20.0	10.0	20.0	-	5.0	10.0	5.0	-	-	-	-	10.0	5.0	-	15.0
入学意向者	N 36	6	8	6	2	1	0	2	2	0	1	2	3	1	0	2
(第二志望受験)	% 100.0	16.7	22.2	16.7	5.6	2.8	-	5.6	5.6	-	2.8	5.6	8.3	2.8	-	5.6
入学意向者	N 165	42	49	20	4	2	7	10	4	0	2	7	3	2	1	12
(第三志望以降受験)	% 100.0	25.5	29.7	12.1	2.4	1.2	4.2	6.1	2.4	-	1.2	4.2	1.8	1.2	0.6	7.3
入学意向者	N 221	52	59	30	6	4	9	13	6	0	3	9	8	4	1	17
(受験意向あり)	% 100.0	23.5	26.7	13.6	2.7	1.8	4.1	5.9	2.7	-	1.4	4.1	3.6	1.8	0.5	7.7

(人)

	全体	希望する学校の設置者			調査手法						
		私立	国立	公立	(高校留置調査)	(宗門校調査)	(その他の留置調査)	DM調査	大学保有リスト	レットフルDM調査	
入学意向者	N 20	20	14	15	1	0	8	10	1	1	
(第一志望受験)	% 100.0	100.0	70.0	75.0	5.0	-	40.0	50.0	5.0	5.0	
入学意向者	N 36	36	20	23	2	5	15	13	1	1	
(第二志望受験)	% 100.0	100.0	55.6	63.9	5.6	13.9	41.7	36.1	2.8	2.8	
入学意向者	N 165	165	88	90	0	13	96	43	13	13	
(第三志望以降受験)	% 100.0	100.0	53.3	54.5	-	7.9	58.2	26.1	7.9	7.9	
入学意向者	N 221	221	122	128	3	18	119	66	15	15	
(受験意向あり)	% 100.0	100.0	55.2	57.9	1.4	8.1	53.8	29.9	6.8	6.8	

(人)

	全体	関連分野【人文科学】				その他の分野											無回答	
		文学関係	史学関係	哲学関係	人文科学：その他	理学	工学	農学	保健	商船	社会科学	家政	教育	芸術	その他	左記以外の分野		
入学意向者	N 20	13	4	8	9	4	2	4	0	0	2	4	2	4	1	1	0	0
(第一志望受験)	% 100.0	65.0	20.0	40.0	45.0	20.0	10.0	20.0	-	-	10.0	20.0	10.0	20.0	5.0	5.0	-	-
入学意向者	N 36	30	12	6	9	3	1	0	3	0	8	5	8	12	0	1	0	0
(第二志望受験)	% 100.0	83.3	33.3	16.7	25.0	8.3	2.8	-	8.3	-	22.2	13.9	22.2	33.3	-	2.8	-	-
入学意向者	N 165	105	37	32	72	5	5	7	15	1	61	22	33	32	7	11	0	0
(第三志望以降受験)	% 100.0	63.6	22.4	19.4	43.6	3.0	3.0	4.2	9.1	0.6	37.0	13.3	20.0	19.4	4.2	6.7	-	-
入学意向者	N 221	148	53	46	90	12	8	11	18	1	71	31	43	48	8	13	0	0
(受験意向あり)	% 100.0	67.0	24.0	20.8	40.7	5.4	3.6	5.0	8.1	0.5	32.1	14.0	19.5	21.7	3.6	5.9	-	-

日本文化学部 日本文化学科 学生確保アンケート調査<高校>

5

有効回答(4,696件)の単純集計①

F1 性別【全体/単一回答】

F1	性別	(n=4,696)	N	%
1	男性		0	-
2	女性		4,696	100.0
3	その他		0	-
4	回答しない		0	-
5	無回答		0	-
	合計		4,696	100.0

F4 高校所在地【全体/単一回答】

F4	高校所在地	(n=4,696)	N	%
1	京都府		1,536	32.7
2	滋賀県		1,412	30.1
3	大阪府		502	10.7
4	兵庫県		64	1.4
5	奈良県		14	0.3
6	福井県		258	5.5
7	愛知県		252	5.4
8	三重県		24	0.5
9	山形県		24	0.5
10	群馬県		61	1.3
11	埼玉県		198	4.2
12	東京都		173	3.7
13	岡山県		17	0.4
14	熊本県		84	1.8
15	その他地域		77	1.6
	合計		4,696	100.0

F5 通っている高校の設置者【全体/単一回答】

F5	通っている高校の設置者	(n=4,696)	N	%
1	公立		2,299	49.0
2	私立		2,395	51.0
3	その他・不明		2	0.0
	合計		4,696	100.0

※表内の%は四捨五入のため、各項目の合計値は100%にならない場合がある。

日本文化学部 日本文化学科 学生確保アンケート調査<高校>

6

有効回答(4,696件)の単純集計②

Q1 高校卒業後の希望進路を教えてください。【全体/複数回答】

※表内のNは複数回答のため、足し合わせても回答者数(n)に一致しない。
※表内の%は回答者数(n)のうち、各項目を選択した者(N)の割合となる。

Q1	高校卒業後の希望進路 (n=4,696)	N	%
1	大学(4年制・6年制)	3,124	66.5
2	短期大学	633	13.5
3	専門職大学	205	4.4
4	専門職短期大学	114	2.4
5	専門学校・専修学校	1,338	28.5
6	就職	526	11.2
7	その他	73	1.6
8	無回答	14	0.3

Q2 上記設問のうち、1~4を選択した方に質問です。志望する大学の種類を教えてください。【大学・短期大学・専門職大学・専門職短期大学進学希望者/複数回答】

※表内のNは複数回答のため、足し合わせても回答者数(n)に一致しない。
※表内の%は回答者数(n)のうち、各項目を選択した者(N)の割合となる。

Q2	希望する学校の設置者 (n=3,518)	N	%
1	私立	3,048	86.6
2	国立	1,089	31.0
3	公立	1,308	37.2
4	無回答	27	0.8

Q3 高校卒業後に学びたいと考えている、興味のある学問分野を次の中から選択してください。【全体/複数回答】

※表内のNは複数回答のため、足し合わせても回答者数(n)に一致しない。
※表内の%は回答者数(n)のうち、各項目を選択した者(N)の割合となる。

Q3	興味のある学問分野 (n=4,696)	N	%
1	文学関係	1,179	25.1
2	史学関係	256	5.5
3	哲学関係	334	7.1
4	人文科学:その他(地域文化学、生活文化学、文化遺産学など)	646	13.8
5	理学(数学・物理学・化学・生物学・地学など)	187	4.0
6	工学(機械工学・電気通信工学・建築工学など)	130	2.8
7	農学(農学・農芸化学・林学・獣医学・水産学など)	186	4.0
8	保健(医学・歯学・薬学・看護学など)	939	20.0
9	商船(商船学)	27	0.6
10	社会科学(法学・政治学・商学・経済学・社会学など)	769	16.4
11	家政(家政学・食物学・被服学・住居学・児童学など)	572	12.2
12	教育(教育学・小学校課程・幼稚園課程など)	948	20.2
13	芸術(美術・デザイン・音楽など)	916	19.5
14	その他(教養・総合科学など)	212	4.5
15	上記以外の分野	758	16.1
16	あてはまるものはない	30	0.6
17	無回答	152	3.2

日本文化学部 日本文化学科 学生確保アンケート調査<高校>

7

有効回答(4,696件)の単純集計③

Q4 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)が開設された場合、あなたはどの程度受験したいと思いますか。【大学進学希望者/単一回答】

Q4	受験意向 (n=3,124)	N	%
1	第一志望として受験する	30	1.0
2	第二志望として受験する	74	2.4
3	第三志望以降として受験する	287	9.2
4	受験しない	2,725	87.2
5	あてはまらない	0	-
6	無回答	8	0.3
	合計	3,124	100.0

Q5 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。【大学進学希望者×受験意向者/単一回答】

受験意向者=「第一志望として受験する」~「第三志望以降として受験する」回答者

Q5	入学意向 (n=391)	N	%
1	入学する	53	13.6
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	290	74.2
3	入学しない	46	11.8
4	あてはまらない	0	-
5	無回答	2	0.5
	合計	391	100.0

※表内の%は四捨五入のため、各項目の合計値は100%にならない場合がある。

日本文化学部 日本文化学科 学生確保アンケート調査<高校>

8

資料 17 :

学生確保に関するアンケート調査(設置計画の概要リーフレット)

Admission policy
入学者受入れの方針

日本文化学科は、学位授与の方針に定める人材を養成するため、高等学校等における学習や経験を通じて、次のような基礎的な知識、思考・判断力、表現力等により主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付け、自ら課題を発見し、探求しようとする意欲ある者を受入れるものとし、多様な選抜方法を適切に実施する。

ア. 知識・理解
高等学校等の教育課程を幅広く修得し、学科の専門分野の修学に必要な国語の基礎的知識を理解している。

イ. 思考・判断
自ら学ぶとする学習意欲を持ち、探求心によって身に付けた知識・技能を基に、論理的に考え、協調性をもって他者へ客観的に説明しようとする事ができる。

ウ. 関心・意欲・態度
日本文化を探究する関心を持ち、京都で学ぶ意欲があり、課題解決に向けて主体的に最後まで取り組むことができる態度を有している。

エ. 技能・表現
他者と積極的に関わる事ができ、他者に対して自分の考えを口頭・文章等によって表現することができる。

京都華頂大学 日本文化学部 日本文化学科 2025年4月開設 (予定 構想中)

[入学定員] 女子40名 [修業年限] 4年 [学位名称] 学士(日本文化学) [学生納付金] 1,375,000円予定

類似の内容が学べる他大学の学部学科

- 京都産業大学 文化学部 京都文化学科
- 京都ノートルダム女子大学 国際言語文化学部 国際日本文化学科
- 京都精華大学 国際文化学部 人文学科(日本文化専攻)
- 梅花女子大学 文化表現学部 日本文化学科

ACCESS



京都華頂大学 <https://www.kyotokacho-u.ac.jp/>

華頂短期大学 <https://www.kacho-college.ac.jp/>

〒605-0062 京都市東山区林下町3-456
TEL.075-551-1188(代表) TEL.075-551-1211(入学広報課)
FAX.075-451-1530(入学広報課)
E-mail:nyugaku@kyotokacho-u.ac.jp(入学広報課)

2025年11月発行

京都華頂大学

4年間。京都で学ぶ。



日本文化学部 日本文化学科 仮称

2025年4月開設 (予定 構想中)

*設置計画は予定であり、変更が生じる可能性があります。

京都で学ぶ4年間。

見て、聞いて、触れて、感じて、

自分の感性を研ぎ澄ませて、京都で日本文化を学ぶ4年間。

京都単科大学 日本文化学部 日本文化学科
2025年4月、開設

設置の理念

日本文化の中心地である京都において日本文化(学)を学ぶということは、人間がその自然や風土に合わせて形成した生活様式、くらし、価値観の総体である「文化」に深く触れることができるだけでなく、その豊かさや意義を理解することにより、その多様な価値を継承、創造そして発展していくことが期待されます。

日本文化学部(仮称)を京都・東山に設置することは、京都が受け継いできた日本古来の文化的伝統の継承、文化産業の発展、文化交流の振興にふさわしい地の利があるためです。また、多文化共生を踏まえた平和を築くうえで、日本の文化的アイデンティティを育むことができる教育・研究機関として、その成果を社会に還元して、京都に蓄積された文化資源を活用して新しい文化創造に寄与することを設置の理念とします。

養成する人材像

日本文化学部では、日本文化を構成する京都文化、生活文化、和食文化、歴史文化、伝統文化などの専門的な知識を、多様な日本文化を継承、創造、発展させてきた国際都市・京都において、京都に蓄積された文化資源を活用し体験的に学び、日本文化を深く探究する力や、新しい文化創造に寄与する能力を修得します。グローバル化、情報化、少子高齢化の進展にともない、人々の価値観や生活様式が多様化している現代社会で、共有される考え方や価値基準の体系である文化を学び、多文化・多様性を理解し価値観を尊重する豊かな人間性と、提案力・実行力・継続力などのソフトスキルを備えた職業人として、社会に貢献できる資質・能力を備えた人材を養成します。



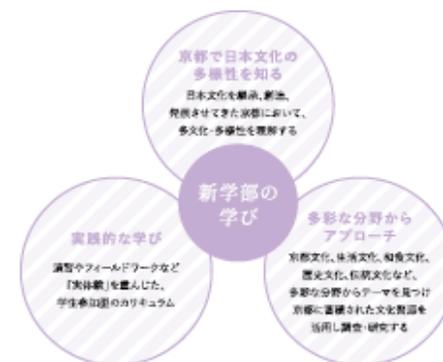
学びの内容・特色

テーマ

日本文化研究に必要なスキルを修得するため、日本の歴史、伝統、文学、文化財、祭礼、食文化など多様な分野から興味・関心に沿って学びながら、自ら考え、自らのテーマを見つけて調査・研究を行います。

学び方

京都を舞台に各自のテーマに沿った演習やフィールドワークなど「実体験」から学ぶ演習を重んじ、様々な学生参加型のカリキュラムを用意。異なる価値観にふれ、自分の世界を広げるための授業が豊富です。



卒業後の進路

予想される進路として、文化関連産業、観光関連業、出版・マスコミなどの情報業などの民間企業、地方自治体や関連団体をはじめ、文化の多様性が求められる業界をめざすことが期待されます。また、中学校・高等学校の国語教員、博物館などの学芸員など、資格を活かした進路につくこともできます。

※ただし文部科学省における調査の結果、予定している就職領域の開設時期等が変更になる可能性があります。

京都華頂大学日本文化学部(仮称)設置構想に関するアンケート

対象:2023 年度現在、高校2年生のみなさん

京都華頂大学では2025年4月に新しい学部として「日本文化学部」(仮称)を設置することを構想しています。このアンケートを通して、これから大学進学時期を迎えるみなさんからご意見をお聞きして、新しい学部の構想をより充実させたいと考えております。

※一緒にお配りするリーフレットを事前によく読んでいただいた上でご回答をお願いします。

なお、このアンケートに回答いただいたみなさんから得られた情報は、京都華頂大学の新学部の設置構想に係る統計資料としてのみ使用し、個人を特定するようなことはありません。また、回答内容が入学に影響を及ぼすこともありません。

ぜひ高校2年生のみなさんのアンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

高校卒業後の進路についてあなたのご希望をお聞きます。

問1. 高校卒業後の希望進路を教えてください。(いくつでもO)

- | | | |
|----------------|--------------|----------|
| 1. 大学(4年制・6年制) | 2. 短期大学 | 3. 専門職大学 |
| 4. 専門職短期大学 | 5. 専門学校・専修学校 | 6. 就職 |
| 7. その他 | | |

問2. 上記設問のうち、1~4を選択した方に質問です。(※5~7のみを選択した方は問3へ進んでください)

志望する大学の種類を教えてください。(いくつでもO)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 私立 | 2. 国立 | 3. 公立 |
|-------|-------|-------|

(次ページに続きます)

問 3. 高校卒業後に学びたいと考えている、興味のある学問分野を次の中から選択してください。(いくつでも○)⇨

※興味のある学問分野について、モレがないように全ての項目を見ていただいた上で○をつけてください。⇨

⇨

回答欄 (あてはまるものすべてに○)



◆ 京都華頂大学日本文化学部の関連分野 ◆

【人文科学】

	1. 文学関係
	2. 史学関係
	3. 哲学関係
	4. 人文科学：その他 (地域文化学、生活文化学、文化遺産学など)

◆ その他の分野 ◆

	5. 理学 (数学・物理学・化学・生物学・地学など)
	6. 工学 (機械工学・電気通信工学・建築工学など)
	7. 農学 (農学・農芸化学・林学・獣医学・水産学など)
	8. 保健 (医学・歯学・薬学・看護学など)
	9. 商船 (商船学)
	10. 社会科学 (法学・政治学・商学・経済学・社会学など)
	11. 家政 (家政学・食物学・被服学・住居学・児童学など)
	12. 教育 (教育学・小学校課程・幼稚園課程など)
	13. 芸術 (美術・デザイン・音楽など)
	14. その他 (教養・総合科学など)
	15. 上記以外の分野

ここからは、京都華頂大学 日本文化学部 日本文化学科(仮称・設置構想中)についてお聞きします。←
別途お配りしたリーフレットをよくお読みいただき、お答えください。←

←

問 4. 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)が開設された場合、あなたはどの程度受験したいと思いますか。(ひとつに○) ←

1. 第一志望として受験する
2. 第二志望として受験する←
3. 第三志望以降として受験する
4. 受験しない←

←

問 5. 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・構想中)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。(ひとつに○) ←

1. 入学する
2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する←
3. 入学しない←

←

あなたご自身についてお聞きします。←

←

F1. 性別 (ひとつに○)←

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない←

←

F2. 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)への受験や入学意向を尋ねるアンケートに回答したことはありますか。(ひとつに○)←

1. ない(今回が初めて)
2. ある(以前にも回答した)←

←

←

アンケートはこれで終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。←

資料 17 :
学生確保に関するアンケート調査(調査協力高校)

調査回答者在籍高校一覧 I

No.	高校名	所在地	No.	高校名	所在地
1	ノートルダム女学院高等学校	京都府	66	滋賀県立玉川高等学校	滋賀県
2	花園高等学校	京都府	67	滋賀県立栗東高等学校	滋賀県
3	京都橘高等学校	京都府	68	滋賀県立堅田高等学校	滋賀県
4	京都共栄学園高等学校	京都府	69	滋賀県立湖南農業高等学校	滋賀県
5	京都教育大学附属高等学校	京都府	70	滋賀県立甲西高等学校	滋賀県
6	京都暁星高等学校	京都府	71	滋賀県立高島高等学校	滋賀県
7	京都市立紫野高等学校	京都府	72	滋賀県立国際情報高等学校	滋賀県
8	京都市立西京高等学校	京都府	73	滋賀県立水口高等学校	滋賀県
9	京都市立塔南高等学校	京都府	74	滋賀県立水口東高等学校	滋賀県
10	京都市立堀川高等学校	京都府	75	滋賀県立石部高等学校	滋賀県
11	京都女子高等学校	京都府	76	滋賀県立膳所高等学校	滋賀県
12	京都精華学園高等学校	京都府	77	滋賀県立草津東高等学校	滋賀県
13	京都聖母学院高等学校	京都府	78	滋賀県立大津高等学校	滋賀県
14	京都西山高等学校	京都府	79	滋賀県立大津商業高等学校	滋賀県
15	京都先端科学大学附属高等学校	京都府	80	滋賀県立長浜北星高等学校	滋賀県
16	京都府立綾部高等学校	京都府	81	滋賀県立東大津高等学校	滋賀県
17	京都府立園部高等学校	京都府	82	滋賀県立八日市高等学校	滋賀県
18	京都府立鴨沂高等学校	京都府	83	滋賀県立八幡高等学校	滋賀県
19	京都府立亀岡高等学校	京都府	84	滋賀県立八幡商業高等学校	滋賀県
20	京都府立宮津天橋高等学校	京都府	85	滋賀県立彦根翔西館高等学校	滋賀県
21	京都府立宮津天橋高等学校 加悦谷学舎	京都府	86	滋賀県立北大津高等学校	滋賀県
22	京都府立宮津天橋高等学校 宮津学舎	京都府	87	滋賀短期大学附属高等学校	滋賀県
23	京都府立京都すびる高等学校	京都府	88	比叡山高等学校	滋賀県
24	京都府立柱高等学校	京都府	89	彦根総合高等学校	滋賀県
25	京都府立向陽高等学校	京都府	90	羽衣学園高等学校	大阪府
26	京都府立嵯峨野高等学校	京都府	91	金光藤蔭高等学校	大阪府
27	京都府立山城高等学校	京都府	92	建国高等学校	大阪府
28	京都府立朱雀高等学校	京都府	93	賢明学院高等学校	大阪府
29	京都府立城南妻創高等学校	京都府	94	香里スヴェール学院高等学校	大阪府
30	京都府立城陽高等学校	京都府	95	四天王寺高等学校	大阪府
31	京都府立清新高等学校	京都府	96	四條唯学園高等学校	大阪府
32	京都府立清明高等学校	京都府	97	常翔啓光学園高等学校	大阪府
33	京都府立西城陽高等学校	京都府	98	清教学園高等学校	大阪府
34	京都府立西舞鶴高等学校	京都府	99	清風南海高等学校	大阪府
35	京都府立丹後緑風高等学校 久美浜学舎	京都府	100	宣真高等学校	大阪府
36	京都府立鳥羽高等学校	京都府	101	相愛高等学校	大阪府
37	京都府立田辺高等学校	京都府	102	大阪つくば開成高等学校	大阪府
38	京都府立東宇治高等学校	京都府	103	大阪高等学校	大阪府
39	京都府立東稜高等学校	京都府	104	大阪国際中学校高等学校	大阪府
40	京都府立南丹高等学校	京都府	105	大阪在住高校生	大阪府
41	京都府立南陽高等学校	京都府	106	大阪女学院高等学校	大阪府
42	京都府立福知山高等学校	京都府	107	大阪信愛学院高等学校	大阪府
43	京都府立峰山高等学校	京都府	108	大阪青凌高等学校	大阪府
44	京都府立北桑田高等学校	京都府	109	大阪電気通信大学高等学校	大阪府
45	京都府立北嵯峨高等学校	京都府	110	大阪府立貝塚高等学校	大阪府
46	京都府立北稜高等学校	京都府	111	大阪府立交野高等学校	大阪府
47	京都府立木津高等学校	京都府	112	大阪府立阪南高等学校	大阪府
48	京都府立洛西高等学校	京都府	113	大阪府立堺上高等学校	大阪府
49	京都府立洛東高等学校	京都府	114	大阪府立桜和高等学校	大阪府
50	京都府立洛北高等学校	京都府	115	大阪府立三島高等学校	大阪府
51	京都文教高等学校	京都府	116	大阪府立山田高等学校	大阪府
52	京都明德高等学校	京都府	117	大阪府立柴島高等学校	大阪府
53	京都両洋高等学校	京都府	118	大阪府立住吉高等学校	大阪府
54	京都翔英高等学校	京都府	119	大阪府立春日丘高等学校	大阪府
55	大谷高等学校	京都府	120	大阪府立吹田東高等学校	大阪府
56	日星高等学校	京都府	121	大阪府立泉北高等学校	大阪府
57	福知山淑徳高等学校	京都府	122	大阪府立長古高等学校	大阪府
58	福知山成美高等学校	京都府	123	大阪府立長尾高等学校	大阪府
59	洛南高等学校	京都府	124	大阪府立島本高等学校	大阪府
60	龍谷大学付属平安高等学校	京都府	125	大阪府立藤井寺高等学校	大阪府
61	綾羽高等学校	滋賀県	126	大阪府立八尾高等学校	大阪府
62	近江兄弟社高等学校	滋賀県	127	大阪府立汎愛高等学校	大阪府
63	近江高等学校	滋賀県	128	大阪府立布施北高等学校	大阪府
64	光泉カトリック高等学校	滋賀県	129	大阪府立鳳高等学校	大阪府
65	滋賀学園高等学校	滋賀県	130	大阪府立北かわち草が丘高等学校	大阪府

調査回答者在籍高校一覧 2

No.	高校名	所在地	No.	高校名	所在地
131	大阪府立北野高等学校	大阪府	196	奈良県立奈良高等学校	奈良県
132	大阪府立牧野高等学校	大阪府	197	奈良県立奈良北高等学校	奈良県
133	大阪府立枚方なぎさ高等学校	大阪府	198	奈良市立一乗高等学校	奈良県
134	大阪府立枚方津田高等学校	大阪府	199	奈良大学附属高等学校	奈良県
135	大阪緑蔭高等学校	大阪府	200	日本教育学院高等学校	奈良県
136	大阪借星学園高等学校	大阪府	201	北海道札幌啓成高等学校	北海道
137	大谷高等学校	大阪府	202	専修大学北上高等学校	岩手県
138	長尾谷高等学校	大阪府	203	福島県立磐城高等学校	福島県
139	東大谷高等学校	大阪府	204	ルネサンス高等学校	茨城県
140	桃山学院高等学校	大阪府	205	栃木県立宇都宮北高等学校	栃木県
141	梅花高等学校	大阪府	206	利根沼田学校組合立利根商業高等学校	群馬県
142	箕面自由学園高等学校	大阪府	207	春日部共栄高等学校	埼玉県
143	浪速高等学校	大阪府	208	千葉県立千葉高等学校	千葉県
144	近畿大学附属豊岡高等学校	兵庫県	209	お茶の水女子大学附属高等学校	東京都
145	三田学園中学校・高等学校	兵庫県	210	共立女子高等学校	東京都
146	神戸常盤女子高等学校	兵庫県	211	恵泉女学園高等学校	東京都
147	神戸龍谷高等学校	兵庫県	212	筑波大学附属高等学校	東京都
148	仁川学院中学・高等学校	兵庫県	213	東京都立城東高等学校	東京都
149	西宮市立西宮東高等学校	兵庫県	214	東京都立大泉高等学校	東京都
150	滝川第二高等学校	兵庫県	215	白梅学園高等学校	東京都
151	姫路市立飾磨高等学校	兵庫県	216	国学院大学久我山高等学校	東京都
152	姫路市立姫路高等学校	兵庫県	217	神奈川県立横浜翠嵐高等学校	神奈川県
153	百合学院高等学校	兵庫県	218	富山県立滑川高等学校	富山県
154	兵庫県立伊丹北高等学校	兵庫県	219	富山県立小杉高等学校	富山県
155	兵庫県立加古川西高等学校	兵庫県	220	富山県立石動高等学校	富山県
156	兵庫県立加古川南高等学校	兵庫県	221	富山県立南砺平高等学校	富山県
157	兵庫県立三木高等学校	兵庫県	222	富山県立入善高等学校	富山県
158	兵庫県立社高等学校	兵庫県	223	富山県立氷見高等学校	富山県
159	兵庫県立洲本高等学校	兵庫県	224	富山県立福岡高等学校	富山県
160	兵庫県立神戸高塚高等学校	兵庫県	225	富山県立雄山高等学校	富山県
161	兵庫県立神戸高等学校	兵庫県	226	啓新高等学校	福井県
162	兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校	兵庫県	227	敦賀気比高等学校	福井県
163	兵庫県立須磨友が丘高等学校	兵庫県	228	福井県立科学技術高等学校	福井県
164	兵庫県立星陵高等学校	兵庫県	229	福井県立金津高等学校	福井県
165	兵庫県立西宮香風高等学校	兵庫県	230	福井県立若狭高等学校	福井県
166	兵庫県立西宮高等学校	兵庫県	231	福井県立若狭東高等学校	福井県
167	兵庫県立西宮今津高等学校	兵庫県	232	福井県立丹生高等学校	福井県
168	兵庫県立西宮北高等学校	兵庫県	233	福井県立敦賀高等学校	福井県
169	兵庫県立川西北陵高等学校	兵庫県	234	福井県立美方高等学校	福井県
170	兵庫県立川西緑台高等学校	兵庫県	235	福井県立武生東高等学校	福井県
171	兵庫県立淡路三原高等学校	兵庫県	236	北陸高等学校	福井県
172	兵庫県立猪名川高等学校	兵庫県	237	伊那西高等学校	長野県
173	兵庫県立東灘高等学校	兵庫県	238	長野県飯田高等学校	長野県
174	兵庫県立八鹿高等学校	兵庫県	239	岐阜県立華陽フロンティア高等学校	岐阜県
175	兵庫県立姫路南高等学校	兵庫県	240	岐阜県立岐山高等学校	岐阜県
176	兵庫県立姫路別所高等学校	兵庫県	241	岐阜県立恵那南高等学校	岐阜県
177	兵庫県立武庫荘総合高等学校	兵庫県	242	岐阜女子高等学校	岐阜県
178	兵庫県立宝塚西高等学校	兵庫県	243	岐阜聖徳学園高等学校	岐阜県
179	兵庫県立宝塚北高等学校	兵庫県	244	啓晴高等学校	岐阜県
180	兵庫県立豊岡高等学校	兵庫県	245	聖マリア女学院高等学校	岐阜県
181	兵庫県立北摂三田高等学校	兵庫県	246	中京高等学校	岐阜県
182	兵庫県立明石高等学校	兵庫県	247	静岡県立静岡東高等学校	静岡県
183	兵庫県立明石清水高等学校	兵庫県	248	静岡県立浜松西高等学校	静岡県
184	兵庫県立鳴尾高等学校	兵庫県	249	静岡北高等学校	静岡県
185	兵庫県立網干高等学校	兵庫県	250	浜松市立高等学校	静岡県
186	兵庫在住高校生	兵庫県	251	ルネサンス豊田高等学校	愛知県
187	天理高等学校	奈良県	252	愛知啓成高等学校	愛知県
188	奈良県立磯城野高等学校	奈良県	253	愛知県立蒲郡東高等学校	愛知県
189	奈良県立五條高等学校	奈良県	254	愛知県立高浜高等学校	愛知県
190	奈良県立香芝高等学校	奈良県	255	愛知県立小牧高等学校	愛知県
191	奈良県立高門芸術高等学校	奈良県	256	愛知県立小牧南高等学校	愛知県
192	奈良県立国際高等学校	奈良県	257	愛知県立西尾東高等学校	愛知県
193	奈良県立桜井高等学校	奈良県	258	愛知県立丹羽高等学校	愛知県
194	奈良県立臥佛寺高等学校	奈良県	259	愛知県立中村高等学校	愛知県
195	奈良県立大学附属高等学校	奈良県	260	愛知県立長久手高等学校	愛知県

調査回答者在籍高校一覧 3

No.	高校名	所在地
261	愛知県立東郷高等学校	愛知県
262	愛知県立日進西高等学校	愛知県
263	愛知県立半田東高等学校	愛知県
264	愛知県立豊明高等学校	愛知県
265	愛知県立鳴海高等学校	愛知県
266	愛知産業大学三河高等学校	愛知県
267	栄徳高等学校	愛知県
268	菊華高等学校	愛知県
269	光ヶ丘女子高等学校	愛知県
270	桜花学園高等学校	愛知県
271	至学館高等学校	愛知県
272	人間環境大学附属岡崎高等学校	愛知県
273	福山女子学園高等学校	愛知県
274	星城高等学校	愛知県
275	清林館高等学校	愛知県
276	聖カピタニオ女子高等学校	愛知県
277	聖霊高等学校	愛知県
278	中部大学春日丘高等学校	愛知県
279	東海高等学校	愛知県
280	東邦高等学校	愛知県
281	藤ノ花女子高等学校	愛知県
282	同朋高等学校	愛知県
283	豊橋市立豊橋高等学校	愛知県
284	豊川高等学校	愛知県
285	豊田大谷高等学校	愛知県
286	名古屋経済大学高蔵高等学校	愛知県
287	名古屋市立向陽高等学校	愛知県
288	名古屋市立山田高等学校	愛知県
289	名古屋市立若宮商業高等学校	愛知県
290	名古屋市立富田高等学校	愛知県
291	名古屋女子大学高等学校	愛知県
292	名古屋情報専門学校高等課程	愛知県
293	名城大学附属高等学校	愛知県
294	伊勢学園高等学校	三重県
295	海星高等学校	三重県
296	暁高等学校	三重県
297	康学院高等学校	三重県
298	三重県立桑名高等学校	三重県
299	三重県立四日市高等学校	三重県
300	三重県立四日市南高等学校	三重県
301	三重県立松阪高等学校	三重県
302	三重県立上野高等学校	三重県
303	三重県立神戸高等学校	三重県
304	三重県立北星高等学校	三重県
305	三重県立名張青峰高等学校	三重県
306	三重県立木本高等学校	三重県
307	三重高等学校	三重県
308	聞智高等学校	和歌山県
309	近畿大学附属和歌山高等学校	和歌山県
310	和歌山県立海南高等学校	和歌山県
311	和歌山県立笠田高等学校	和歌山県
312	和歌山県立橋本高等学校	和歌山県
313	和歌山県立桐蔭高等学校	和歌山県
314	和歌山県立星林高等学校	和歌山県
315	和歌山県立耐久高等学校	和歌山県
316	和歌山県立和歌山北高等学校	和歌山県
317	鳥取県立米子西高等学校	鳥取県
318	松江市立富美が丘女子高等学校	島根県
319	岡山県立岡山一宮高等学校	岡山県
320	岡山県立笠岡高等学校	岡山県
321	岡山県立西大寺高等学校	岡山県
322	岡山県立倉敷商業高等学校	岡山県
323	岡山県立総社南高等学校	岡山県
324	岡山県立林野高等学校	岡山県
325	岡山県立和気開谷高等学校	岡山県

No.	高校名	所在地
326	岡山高等学校	岡山県
327	岡山理科大学附属高等学校	岡山県
328	鹿島朝日高等学校	岡山県
329	就実高等学校	岡山県
330	清心女子高等学校	岡山県
331	倉敷高等学校	岡山県
332	明誠学院高等学校	岡山県
333	AICJ高等学校	広島県
334	近畿大学附属広島高等学校	広島県
335	広島県立安古市高等学校	広島県
336	広島県立海田高等学校	広島県
337	広島県立広島皆実高等学校	広島県
338	広島県立高陽東高等学校	広島県
339	広島県立黒瀬高等学校	広島県
340	広島県立神辺旭高等学校	広島県
341	広島県立大門高等学校	広島県
342	広島県立福山商業高等学校	広島県
343	広島県立福山明王台高等学校	広島県
344	広島工業大学高等学校	広島県
345	山口県立小野田高等学校	山口県
346	松陰高等学校	山口県
347	徳島県立海部高等学校	徳島県
348	英明高等学校	香川県
349	香川県立高松東高等学校	香川県
350	高松中央高等学校	香川県
351	村上学園高等学校	香川県
352	愛光高等学校	愛媛県
353	愛媛県立伊予高等学校	愛媛県
354	済美高等学校	愛媛県
355	高知県立阿賀高等学校	高知県
356	土佐女子高等学校	高知県
357	久留米大学附設高等学校	福岡県
358	自由ヶ丘高等学校	福岡県
359	福岡県立朝倉高等学校	福岡県
360	福岡大学附属大港高等学校	福岡県
361	熊本県立宇土高等学校	熊本県
362	大分県立宇佐高等学校	大分県
363	宮崎県立延岡星雲高等学校	宮崎県
364	沖縄県立普天間高等学校	沖縄県
【通信制高校】		
365	屋久島おおぞら高等学校	通信制
366	鹿島学園高等学校	通信制
367	飛鳥未来高等学校	通信制
368	N高等学校	通信制
369	長尾谷高等学校	通信制
370	NHK学園高等学校	通信制
371	AOIKE高等学校	通信制
372	精華学園高等学校 豊橋校	通信制
373	一志学園高等学校	通信制
374	こころ未来高等学校	通信制
【宗門校】		
375	酒田南高等学校	山形県
376	樹徳高等学校	群馬県
377	淑徳与野高等学校	埼玉県
378	正智深谷高等学校	埼玉県
379	淑徳SC高等部	東京都
380	淑徳東横高等学校	東京都
381	東海学園高等学校	愛知県
382	上宮太子高等学校	大阪府
383	真和高等学校	熊本県
384	鎮西高等学校	熊本県
【附属高校】		
385	華頂女子高等学校	京都府

京都華頂大学 御中

日本文化学部 日本文化学科 (仮称・設置構想中) 学生確保アンケート調査

【高校生の入学意向_追加実施】

調査結果報告書

2024年6月

株式会社リクルート

株式会社アンド・ディ

目次

▶ 調査概要	2
▶ 調査結果	3
・ 入学意向まとめ	4
・ 有効回答(30件)の単純集計	6

【調査概要】

・ 調査目的

京都華頂大学が計画している「日本文化学部 日本文化学科」の設置(2025年4月)について、オープンキャンパス参加者、資料請求者、附属校の生徒など、京都華頂大学および新設組織に興味関心を持つ高校3年生の女子に受験意向・入学意向をアンケート調査し、学生確保の見直しを確認する。

・ 調査概要

	オープンキャンパス・進学相談会での 対面調査	附属校における高校留置調査	大学保有リストDM調査
調査方法	オープンキャンパスや進学相談会にて、リーフレットを配布し、新学部に関する説明を行ったうえで、WEB画面にて回答。	華頂女子高等学校の生徒のうち、新学部に興味関心を持つ者にガイダンスを行ったうえで、調査票を配布し回答。	オープンキャンパス参加、資料請求等で日本文化学科と接触のあった高校3年生女子に対し、リーフレットとアンケート案内を送付、WEB画面にて回答。
調査対象	京都華頂大学のオープンキャンパスや進学相談会に参加した高校の3年生の女子	華頂女子高等学校に在籍し、新学部に興味関心を持つ3年生の女子	京都華頂大学および華頂短期大学と接触のあった高校3年生の女子
調査回答高校	別添資料を参照のこと		
調査期間	2024年3月～6月 計4回	2024年6月10日(月)	2024年6月13日(木)～ 6月23日(日)
有効回答数	15件 ※重複回答者を除く	1校 / 13件 ※重複回答者を除く	2件 ※重複回答者を除く
調査機関	株式会社 アンド・ディ		
報告書作成	株式会社 リクルート、株式会社 アンド・ディ		

※本報告書は追加実施した調査分の結果を記載している。

▶新設組織の概要

- ・ 日本文化学部 日本文化学科：入学定員40名

入学意向まとめ①

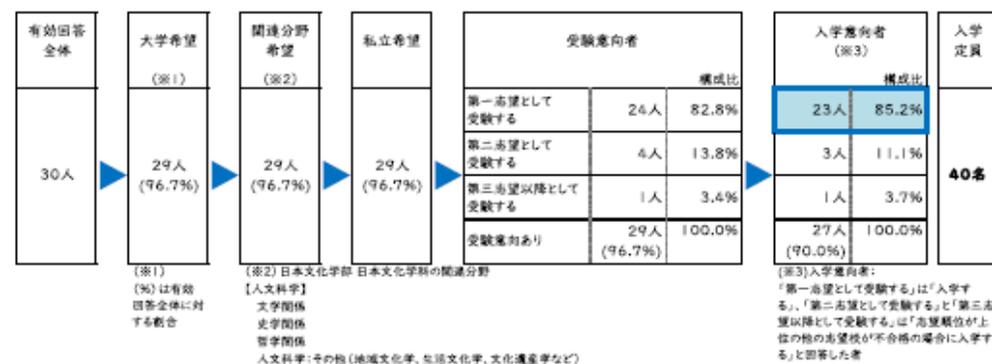
- ・「日本文学部 日本文学科」(入学定員40名)へ、第一志望として受験を希望する入学意向者は23人。

高校卒業後に大学進学を希望する29人(有効回答全体の96.7%)^(※1)のうち、

- ・興味のある学問分野を複数回答で尋ねたところ、「日本文学部 日本文学科」の関連分野のいずれかひとつ以上を選択したのは29人(96.7%)であった。
- ・上記のうち、希望する学校の設置者として「私立」を選択したのは29人(96.7%)であった。
- ・さらに、「日本文学部 日本文学科」への受験意向を尋ねたところ、「第一志望として受験する」と回答したのは24人、入学意向を尋ねたところ、「入学する」と回答したのは23人であった。
- ・先に実施した学生確保アンケート調査における該当者(20人)と合わせると、第一志望として受験を希望する入学意向者は43人となり、予定している入学定員を上回っている。

(※1) 文中の()内の%はすべて有効回答全体に対する割合

<調査結果>



※表内の%は四捨五入のため、構成比の合計値は100%にならない場合がある。

入学意向まとめ②

第一志望として受験・入学意向者についてプロフィールを確認すると、

- ・ 高校所在地は、京都府が11人(47.8%)、次いで大阪が6人(26.1%)であった。
- ・ 調査手法の内訳は、OC・進学相談会における対面調査が13人(56.5%)、附属高校での高校留置調査が9人(39.1%)であった。

※ オープンキャンパス参加者および附属校の生徒にはガイダンスを行っており、すでに興味関心を持ち、新学部の概要をよく理解した者からは高い受験・入学意向が得られると推測される。

	全体	高校所在地							希望する学校の設置者				調査手法別		
		京都府	滋賀県	大阪府	兵庫県	岐阜県	私立	国立	公立	模範校	調査会・進学相談会	附属高校調査	D M 大学保有リスト		
入学意向者(第一志望受験)	N 23 % 100.0	11 47.8	4 17.4	6 26.1	1 4.3	1 4.3	23 100.0	14 60.9	14 60.9	0 -	13 56.5	9 39.1	1 4.3		
入学意向者(第二志望受験)	N 3 % 100.0	2 66.7	0 -	0 -	1 33.3	0 -	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 -	3 100.0	0 -	2 66.7		
入学意向者(第二志望以降受験)	N 1 % 100.0	1 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 -	1 100.0	0 -	0 -		
入学意向者(受験意向あり)	N 27 % 100.0	14 51.9	4 14.8	6 22.2	2 7.4	1 3.7	27 100.0	16 59.3	16 59.3	0 -	15 55.6	11 40.7	1 3.7		

	全体	関連分野【人文科学】					その他の分野										
		文学関係	史学関係	哲学関係	人文科学：その他	理学	工学	農学	保健	商船	社会科学	家政	教育	芸術	その他	左記以外の分野	なめてはまるものは
入学意向者(第一志望受験)	N 23 % 100.0	19 82.6	5 21.7	1 4.3	14 60.9	2 8.7	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 8.7	2 8.7	4 17.4	2 8.7	1 4.3	0 -
入学意向者(第二志望受験)	N 3 % 100.0	2 66.7	0 -	0 -	2 66.7	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
入学意向者(第二志望以降受験)	N 1 % 100.0	0 -	0 -	1 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
入学意向者(受験意向あり)	N 27 % 100.0	21 77.8	5 18.5	2 7.4	16 59.3	2 7.4	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 3.7	2 7.4	3 11.1	4 14.8	2 7.4	1 3.7

有効回答(30件)の単純集計①

性別

Q1 あなたの性別をお答えください。【全体/単一回答】

	男性	女性	その他	回答しない	無回答
全体 (n=30)	N 0 %	30 100.0	0 -	0 -	0 -

通っている高校の設置者

	公立	私立	その他・不明
全体 (n=30)	N 9 %	21 70.0	0 -

高校所在地(都道府県)

	京都府	滋賀県	大阪府	兵庫県	福井県	岐阜県	その他地域
全体 (n=30)	N 16 %	4 13.3	6 20.0	2 6.7	1 3.3	1 3.3	0 -

高校卒業後の希望進路

Q2 高校卒業後の希望進路を教えてください。【全体/複数回答】

	大学(4年制・6年制)	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校・専修学校	就職	その他	無回答
全体 (n=30)	N 29 %	6 20.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

希望する学校の設置者

Q2 Q1のうち、1~4を選択した方に質問です。希望する大学の種類を教えてください。【大学・短期大学・専門職大学・専門職短期大学進学希望者/複数回答】

	私立	国立	公立	無回答
全体 (n=30)	N 30 %	17 56.7	17 56.7	0 -

興味のある学問分野

Q3 高校卒業後に学びたいと考えている、興味のある学問分野を次の中から選択してください。【全体/複数回答】

	文学関係	史学関係	哲学関係	人文科学：その他(地域文化学、生活文化学、文化遺産学など)	理学(数学・物理学・化学・生物学・地学など)	工学(機械工学・電気通信工学・建築工学など)	農学(農学・農芸化学・林学・獣医学・水産学など)	保健(医学・歯学・看護学など)	商船(商船学)
全体 (n=30)	N 23 %	5 16.7	2 6.7	17 56.7	2 6.7	0 -	0 -	0 -	

	社会科学(法学・政治学・商学・経済学・社会学など)	家政(家政学・食物学・服飾学・住居学・児童学など)	教育(教育学・小学校課程・幼稚園課程など)	芸術(美術・デザイン・音楽など)	その他(教養・総合科学など)	上記以外の分野	なめてはまるものはない	無回答
全体 (n=30)	N 2 %	3 10.0	4 13.3	4 13.3	2 6.7	1 3.3	0 -	0 -

※表内の%は四捨五入のため、各項目の合計値は100%にならない場合がある。

有効回答(30件)の単純集計②

「京都府立大学 日本文化学部」の受験意向

Q4 京都府立大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)が開設された場合、あなたはどの程度受験したいと思いますか。【大学進学希望者/単一回答】

	N	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	あてはまらない	無回答
大学進学希望者 (n=29)	29	24	4	1	0	0	0
	%	82.8	13.8	3.4	-	-	-

「京都府立大学 日本文化学部」の入学意向

Q5 京都府立大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。【大学進学希望者×受験意向/単一回答】

※受験意向=Q4「第一志望として受験する」・「第三志望以降として受験する」回答者

	N	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	あてはまらない	無回答
大学進学希望者×受験意向者 (n=29)	29	24	5	0	0	0
	%	82.8	17.2	-	-	-

京都華頂大学日本文化学部(仮称)設置構想に関するアンケート

対象:2024 年度現在、高校 3 年生のみなさん

京都華頂大学では 2025 年 4 月に新しい学部として「日本文化学部」(仮称)を設置することを構想しています。このアンケートを通して、これから大学進学時期を迎えるみなさんからご意見をお聞きして、新しい学部の構想をより充実させたいと考えております。

※一緒にお配りするリーフレットを事前によく読んでいただいた上でご回答をお願いします。

なお、このアンケートに回答いただいたみなさんから得られた情報は、京都華頂大学の新学部の設置構想に係る統計資料としてのみ使用し、個人を特定するようなことはありません。また、回答内容が入学に影響を及ぼすこともありません。

ぜひみなさんのアンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

高校卒業後の進路についてあなたのご希望をお聞きます。

問 1. 高校卒業後の希望進路を教えてください。(いくつでも○)

- | | | |
|------------------|--------------|----------|
| 1. 大学(4 年制・6 年制) | 2. 短期大学 | 3. 専門職大学 |
| 4. 専門職短期大学 | 5. 専門学校・専修学校 | 6. 就職 |
| 7. その他 | | |

問 2. 上記設問のうち、1～4 を選択した方に質問です。(※5～7 のみを選択した方は問 3 へ進んでください)
志望する大学の種類を教えてください。(いくつでも○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 私立 | 2. 国立 | 3. 公立 |
|-------|-------|-------|

(次ページに続きます)

問3.高校卒業後に学びたいと考えている、興味のある学問分野を次の中から選択してください。(いくつでも○)

※興味のある学問分野について、モレがないように全ての項目を見ていただいた上で○をつけてください。

回答欄 (あてはまるものすべてに○)



◆京都華頂大学日本文化学部の関連分野◆

【人文科学】

	1. 文学関係
	2. 史学関係
	3. 哲学関係
	4. 人文科学：その他 (地域文化学、生活文化学、文化遺産学など)

◆その他の分野◆

	5. 理学 (数学・物理学・化学・生物学・地学など)
	6. 工学 (機械工学・電気通信工学・建築工学など)
	7. 農学 (農学・農芸化学・林学・獣医学・水産学など)
	8. 保健 (医学・歯学・薬学・看護学など)
	9. 商船 (商船学)
	10. 社会科学 (法学・政治学・商学・経済学・社会学など)
	11. 家政 (家政学・食物学・被服学・住居学・児童学など)
	12. 教育 (教育学・小学校課程・幼稚園課程など)
	13. 芸術 (美術・デザイン・音楽など)
	14. その他 (教養・総合科学など)
	15. 上記以外の分野

ここからは、京都華頂大学 日本文化学部 日本文化学科(仮称・設置構想中)についてお聞きします。
別途お配りしたリーフレットをよくお読みいただき、お答えください。

問 4. 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)が開設された場合、あなたはどの程度
受験したいと思いますか。(ひとつに○)

1. 第一志望として受験する
2. 第二志望として受験する
3. 第三志望以降として受験する
4. 受験しない

問 5. 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・構想中)を受験して合格した場合、あなたはどの程度
入学したいと思いますか。(ひとつに○)

1. 入学する
2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
3. 入学しない

あなたご自身についてお聞きします。

F1. 性別 (ひとつに○)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

F2. 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)への受験や入学意向を尋ねるアンケートに
回答したことはありますか。(ひとつに○)

1. ない(今回が初めて)
2. ある(以前にも回答した)

アンケートはこれで終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

京都華頂大学 御中

日本文化学部 日本文化学科 (仮称・設置構想中) 人材需要アンケート調査

【企業等への採用意向】

調査結果報告書

2024年3月
株式会社 リクルート
株式会社 アンド・ディ

目次

▶調査概要	2
▶調査結果	3
・採用意向まとめ	4
・採用意向企業等の特徴	5
・有効回答(42社)の単純集計	7

【調査概要】

▶調査目的

- 京都華頂大学が計画している「日本文化学部 日本文化学科」の設置(2025年4月)について、周辺エリアを中心とした全国の企業・団体等に卒業生の採用意向をアンケート調査し、人材需要を確認する。

▶調査概要

調査方法	調査対象の企業・団体の人事・採用担当者に調査票を送付し、郵送で回収。
調査対象	京都華頂大学の卒業生の採用実績がある企業・団体 「日本文化学部 日本文化学科」卒業生の就職先として想定される全国の企業・団体
調査回答企業等	別添資料を参照のこと
調査期間	2023年11月20(月)～12月22日(金)
配布数	110社
有効回答数	42社 (有効回答率 38.2%)
調査機関	株式会社 アンド・ディ
報告書作成	株式会社 リクルート、株式会社 アンド・ディ

▶新設組織の概要

- 日本文化学部 日本文化学科：入学定員40名

<調査結果>

採用意向まとめ

- 「日本文化学部 日本文化学科」卒業生を採用意向ありと回答した企業等の採用意向人数合計は88人。

・大学新卒採用予定ありと回答した37社(88.1%)に対して、「日本文化学部 日本文化学科」卒業生の採用意向を尋ねたところ、「採用対象になる」「おそらく採用対象になる」「採用対象として検討してもよい」を合わせた採用意向ありの企業等は33社(78.6%)となった。

※()内の%はすべて有効回答全体に対する割合

・さらに、卒業生の採用意向ありと回答した33社に対し、採用意向人数を尋ねたところ、採用意向人数の合計は、88人となった。

・以上のとおり、卒業生の採用意向人数は、入学定員40名を上回っている。

学部・学科	集計軸		回答企業数	大学新卒採用予定あり (※1)	卒業生の採用意向			採用意向あり計	採用意向人数合計 (※2)	入学定員
					採用対象になる	おそらく採用対象になる	採用対象として検討してもよい			
日本文化学部 日本文化学科	全体		42社	37社 88.1%	27社 64.3%	4社 9.5%	2社 4.8%	33社 78.6%	88人	40名
	業種別	卸売・小売業	15社	13社 86.7%	11社 73.3%	2社 13.3%	0社 0.0%	13社 86.7%	47人	
		飲食店、宿泊業	9社	8社 88.9%	6社 66.7%	0社 0.0%	1社 11.1%	7社 77.8%	21人	
		製造業	6社	4社 66.7%	2社 33.3%	1社 16.7%	0社 0.0%	3社 50.0%	6人	
		その他サービス	6社	6社 100.0%	5社 83.3%	1社 16.7%	0社 0.0%	6社 100.0%	14人	
		上記以外	6社	6社 100.0%	3社 50.0%	0社 0.0%	1社 16.7%	4社 66.7%	0人	
		回答企業等の所在地別	京都府	23社	18社 78.3%	13社 56.5%	2社 8.7%	2社 8.7%	17社 73.9%	
	滋賀県	5社	5社 100.0%	3社 60.0%	0社 0.0%	0社 0.0%	3社 60.0%	4人		
	大阪府	4社	4社 100.0%	3社 75.0%	1社 25.0%	0社 0.0%	4社 100.0%	9人		
	兵庫県	2社	2社 100.0%	2社 100.0%	0社 0.0%	0社 0.0%	2社 100.0%	3人		
	東京都	6社	6社 100.0%	4社 66.7%	1社 16.7%	0社 0.0%	5社 83.3%	37人		
	愛知県	2社	2社 100.0%	2社 100.0%	0社 0.0%	0社 0.0%	2社 100.0%	2人		

(※1)問5:「2023年度よりも増える」「2023年度よりも減る」回答企業等

(※2)5~9名=7、10~19名=14.5、20名以上=20、採用人数は未確定=0で算出、小数点以下は切り捨て

(※3)フードサービス業、レンタカー事業など

(※4)金融業、保険業、不動産業、賃貸業、生活関連サービス業、橋梁業、神社など

- 採用意向について業種別にみると、「卸売・小売業」では、採用意向ありの企業等は13社、採用意向人数は47人となった。また、「飲食店、宿泊業」では、採用意向ありの企業等は7社、採用意向人数は21人となった。
- 採用意向について所在地別にみると、大学所在地である「京都府」では、採用意向ありの企業等は17社、採用意向人数は33人となった。大学所在地の周辺エリア(滋賀県、大阪府、兵庫県)では、採用意向ありの企業合計9社から16人の採用意向人数が得られている。
- また、「東京都」では、採用意向ありの企業等5社から37人の採用意向人数が得られている。

採用意向企業等の特徴①

▶採用意向企業の特徴調査結果

- 採用意向企業等の主業種は、「卸売・小売業」が13社(39.4%)で最も多く、ついで「飲食店、宿泊業」が7社(21.2%)。
- 採用意向企業等の所在地は、「京都府」が17社で過半数を占める。大学所在地・周辺エリア以外では、「東京都」が5社(15.2%)。

	全体	主業種				
		卸売・小売業	飲食店、宿泊業	製造業	その他サービス	上記以外
採用意向あり-計	N 33	13	7	3	6	4
	% 100.0	39.4	21.2	9.1	18.2	12.1
採用対象になる	N 27	11	6	2	5	3
	% 100.0	40.7	22.2	7.4	18.5	11.1
おそらく採用対象になる	N 4	2	0	1	1	0
	% 100.0	50.0	-	25.0	25.0	-
採用対象として検討してもよい	N 2	0	1	0	0	1
	% 100.0	-	50.0	-	-	50.0

	全体	回答企業等の所在地							従業員規模			
		京都府	滋賀県	大原府	兵庫県	東京都	愛知県	100人以下	101~1,000人	1,001人以上	無回答	
採用意向あり-計	N 33	17	3	4	2	5	2	7	15	11	0	
	% 100.0	51.5	9.1	12.1	6.1	15.2	6.1	21.2	45.5	33.3	-	
採用対象になる	N 27	13	3	3	2	4	2	5	13	9	0	
	% 100.0	48.1	11.1	11.1	7.4	14.8	7.4	18.5	48.1	33.3	-	
おそらく採用対象になる	N 4	2	0	1	0	1	0	1	1	2	0	
	% 100.0	50.0	-	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	50.0	-	
採用対象として検討してもよい	N 2	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
	% 100.0	100.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	

▶量的・質的な人材確保の難易度

- 採用意向企業等において、採用予定人数が「不足する見通し」であると回答したのは、6割超の20社。
- また、採用意向企業等においては、必要な社会人基礎力を持った人材が「不足する見通し」と回答したのは14社(42.4%)、必要な専門性を持った人材が「不足する見通し」と回答したのは15社(45.5%)で、いずれも4割を超える。

Q6 貴社・貴団体の今後10年程度の採用の見通しについてお伺いします。量的・質的な確保の難易度について、あてはまるものをお選びください。【各単一回答】

	合計	採用予定人数				必要な社会人基礎力を持った人材				必要な専門性を持った人材			
		充足できる見通し	不足する見通し	わからない	無回答	充足できる見通し	不足する見通し	わからない	無回答	充足できる見通し	不足する見通し	わからない	無回答
採用意向あり-計	N 33	6	20	6	1	4	14	14	1	1	15	16	1
	% 100.0	18.2	60.6	18.2	3.0	12.1	42.4	42.4	3.0	3.0	45.5	48.5	3.0
採用対象になる	N 27	5	18	3	1	3	13	10	1	1	13	12	1
	% 100.0	18.5	66.7	11.1	3.7	11.1	48.1	37.0	3.7	3.7	48.1	44.4	3.7
おそらく採用対象になる	N 4	1	2	1	0	1	1	2	0	0	2	2	0
	% 100.0	25.0	50.0	25.0	-	25.0	25.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-
採用対象として検討してもよい	N 2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0
	% 100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-

※表内の%は四捨五入のため、各項目の合計値は100%にならない場合がある。

採用意向企業等の特徴②

▶採用したい人材像

- 「日本文化学部 日本文化学科」で修得できる専門知識や、能力(スキル)や社会人基礎力等のうち、採用意向企業等において、最も求められるものは「提案力・実行力・継続力などのソフトスキルを備え、社会に貢献できる資質・能力」(28社/84.8%)、ついで「多文化・多様性を理解し価値観を尊重する豊かな人間性」(23社/69.7%)。
- 採用意向企業等においては、「日本文化学部 日本文化学科」で修得できる専門知識や、能力(スキル)や社会人基礎力等のいずれかひとつ以上が求められている。
- 業種別にみると、卸売・小売業では4社(30.8%)、飲食店、宿泊業では2社(28.6%)が、「日本文化を深く探求する力(専門知識)」を求めている。

Q7 貴社・貴団体では、どのような専門知識や、能力(スキル)や社会人基礎力等を修得した人材を採用したいですか。以下の項目の中からあてはまるものをお選びください。【複数回答】

	全体	日本文化学部を深く探求する力	新しい文化創造に意欲する	多文化・多様性を理解し価値観を尊重する豊かな人間性	提案力・実行力・継続力などのソフトスキルを備え、社会に貢献できる資質・能力	日本語・英語・外国語の能力	あてはまるものはない	無回答
採用意向あり-計	N 33	7	8	23	28	0	0	0
	% 100.0	21.2	24.2	69.7	84.8	-	-	-
採用意向あり-計	N 27	7	8	20	22	0	0	0
	% 100.0	25.9	29.6	74.1	81.5	-	-	-
おそらく採用対象になる	N 4	0	0	2	4	0	0	0
	% 100.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-
採用対象として検討してもよい	N 2	0	0	1	2	0	0	0
	% 100.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-
業種別	N 13	4	5	10	13	0	0	0
	% 100.0	30.8	38.5	76.9	100.0	-	-	-
飲食店、宿泊業	N 7	2	2	5	7	0	0	0
	% 100.0	28.6	28.6	71.4	100.0	-	-	-
製造業	N 3	0	0	1	3	0	0	0
	% 100.0	-	-	33.3	100.0	-	-	-
その他サービス(※1)	N 6	1	1	4	4	0	0	0
	% 100.0	16.7	16.7	66.7	66.7	-	-	-
上記以外(※2)	N 4	0	0	3	1	0	0	0
	% 100.0	-	-	75.0	25.0	-	-	-

(※1)フードサービス業、レンタル事業など

(※2)金融業、保険業、不動産業、賃貸業、生活関連サービス業、娯楽業、神社など

有効回答(42社)の単純集計①

Q1 貴社・貴団体の主業種をお選びください。【全体/単一回答】

Q1	主業種	N	%
1	建設業	0	-
2	製造業	6	14.3
3	情報・通信業	0	-
4	放送・新聞・出版業	0	-
5	運輸業	0	-
6	金融業・保険業	1	2.4
7	不動産業・賃貸業	1	2.4
8	卸売・小売業	15	35.7
9	飲食店・宿泊業	9	21.4
10	保健医療・社会福祉業	1	2.4
11	学校・学習支援業	0	-
12	生活関連サービス業・娯楽業	1	2.4
13	その他サービス (※1)	6	14.3
14	官公庁・自治体・公共団体	0	-
15	その他 (※2)	2	4.8
16	無回答	0	-
	合計	42	100.0

(※1) フードサービス業、レンタカー事業など

(※2) 神社、農業協同組合

Q2 貴社・貴団体の所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。【全体/単一回答】

Q2	本社・主たる事業所等の所在地	N	%
1	京都府	22	52.4
2	滋賀県	4	9.5
3	大阪府	5	11.9
4	兵庫県	2	4.8
5	東京都	7	16.7
6	愛知県	2	4.8
7	無回答	0	-
	合計	42	100.0

Q2_1 回答企業等の所在地【全体/単一回答】

Q2_1	回答企業等の所在地	N	%
1	京都府	23	54.8
2	滋賀県	5	11.9
3	大阪府	4	9.5
4	兵庫県	2	4.8
5	東京都	6	14.3
6	愛知県	2	4.8
	合計	42	100.0

Q3 貴社・貴団体の従業員規模として、あてはまるものをお選びください。【全体/単一回答】

Q3	従業員規模	N	%
1	50人以下	4	9.5
2	51~100人	6	14.3
3	101~500人	15	35.7
4	501~1,000人	2	4.8
5	1,001~5,000人	10	23.8
6	5,001人以上	5	11.9
7	無回答	0	-
	合計	42	100.0

※表内の%は四捨五入のため、各項目の合計値は100%にならない場合がある。

有効回答(42社)の単純集計②

Q4 貴社・貴団体の本年度(2023年4月)入社の大学新卒採用状況についてお伺いします。大学卒の方の採用者数として、あてはまるものをお選びください。【全体/単一回答】

Q4	本年度(2023年4月)入社の大学新卒採用者数	N	%
1	大学新卒採用なし(0人)	4	9.5
2	1~9人	22	52.4
3	10~49人	10	23.8
4	50~99人	2	4.8
5	100人以上	4	9.5
6	無回答	0	-
	合計	42	100.0

Q5 貴社・貴団体の来年度(2024年4月)入社の大学新卒採用について、現時点でどのようにお考えですか。貴社・貴団体の方針にもっとも近いものをお選びください。【全体/単一回答】

Q5	来年度(2024年4月)入社の大学新卒採用方針	N	%
1	2023年度よりも増える	13	31.0
2	2023年度と同程度	20	47.6
3	2023年度よりも減る	4	9.5
4	大学新卒採用は行わない	1	2.4
5	未定・わからない	4	9.5
6	無回答	0	-
	合計	42	100.0

Q6 貴社・貴団体の今後10年程度の採用の見通しについてお伺いします。量的・質的な確保の難易度について、あてはまるものをお選びください。【全体/各単一回答】

Q6	量的・質的な確保の難易度	合計	1	2	3	4
			充足 できる 見通し	不足する 見通し	わから ない	無回答
a. 採用予定人数	N	42	6	24	10	2
	%	100.0	14.3	57.1	23.8	4.8
b. 必要な社会人基礎力を持った人材	N	42	6	18	16	2
	%	100.0	14.3	42.9	38.1	4.8
c. 必要な専門性を持った人材	N	42	1	20	19	2
	%	100.0	2.4	47.6	45.2	4.8

※表内の%は四捨五入のため、各項目の合計値は100%にならない場合がある。

有効回答(42社)の単純集計③

Q7 貴社・貴団体では、どのような専門知識や、能力(スキル)や社会人基礎力等を修得した人材を採用したいですか。以下の項目の中からあてはまるものをお選びください。【大学新卒採用意向企業等/複数回答】

※大学新卒採用意向企業等=Q5「2023年度よりも増える」～「2023年度よりも減る」回答企業等

※表内のNは複数回答のため、足し合わせても回答者数(n)に一致しない。

※表内の%は回答者数(n)のうち、各項目を選択した者(N)の割合となる。

Q7	採用したい人材像 修得してほしい能力	(n=37)	N	%
1	日本文化を深く探求する力(専門知識)		7	18.9
2	新しい文化創造に寄与する能力		8	21.6
3	多文化・多様性を理解し低価値を尊重する豊かな人間性		24	64.9
4	提案力・実行力・継続力などのソフトスキルを備え、社会に貢献できる資質・能力		31	83.8
5	あてはまるものはない		0	-
6	無回答		1	2.7

Q8 京都華頂大学「日本文化学部 日本文化学科」(仮称・設置構想中)で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えですか。貴社・貴団体のお考えにもっとも近いものをお選びください。【大学新卒採用意向企業等/単一回答】

※大学新卒採用意向企業等=Q5「2023年度よりも増える」～「2023年度よりも減る」回答企業等

Q8	採用意向	N	%
1	採用対象になる	27	73.0
2	おそらく採用対象になる	4	10.8
3	採用対象として検討してもよい	2	5.4
4	あまり採用対象にならない	3	8.1
5	採用対象にならない	0	-
6	無回答	1	2.7
	合計	37	100.0

Q9 Q8で、「1.採用対象になる」「2.おそらく採用対象になる」「3.採用対象として検討してもよい」を選んだ方にお聞きます。何人程度の採用が見込めるか、お答えください。【大学新卒採用意向×日本文化学部日本文化学科卒業生採用意向企業等/単一回答】

※日本文化学部日本文化学科卒業生採用意向企業等=Q8「採用対象になる」～「採用対象として検討してもよい」回答企業等

Q9	採用意向人数	[換算人数]	N	%	採用人数
1	1名	[1.0]	3	9.1	3人
2	2名	[2.0]	8	24.2	16人
3	3名	[3.0]	7	21.2	21人
4	4名	[4.0]	0	-	0人
5	5～9名	[7.0]	2	6.1	14人
6	10～19名	[14.5]	1	3.0	14人
7	20名以上	[20.0]	1	3.0	20人
8	採用人数は未確定	[0.0]	11	33.3	0人
9	無回答		0	-	
	合計		33	100.0	88人
	1社あたりの平均人数				2.7人

※表内の%は四捨五入のため、各項目の合計値は100%にならない場合がある。

京都華頂大学日本文化学部(仮称)設置構想に関するアンケート

京都華頂大学では現在、変化する社会において求められる人材育成ニーズに対応するため、2025年4月に「日本文化学部」(仮称)の設置を構想しております。

皆様の回答から得られた情報は、新学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

業務ご多用の折、大変お手数ではございますが、本調査の主旨をご理解の上、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

誠に勝手ながら、下記期日までにご回答いただきますようお願い致します。

2023年12月22日(金) 当日消印有効

※同封の返信用封筒(切手不要)にてご投函ください。

はじめに貴社についてお聞きします。

問1. 貴社・貴団体の主業種をお選びください。(ひとつに○)

- | | | |
|----------------|------------------|-------------------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業 | 3. 情報・通信業 |
| 4. 放送、新聞、出版業 | 5. 運輸業 | 6. 金融業、保険業 |
| 7. 不動産業、賃貸業 | 8. 卸売・小売業 | 9. 飲食店、宿泊業 |
| 10. 保健医療・社会福祉業 | 11. 学校・学習支援業 | 12. 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 13. その他サービス | 14. 官公庁・自治体・公共団体 | 15. その他() |

問2. 貴社・貴団体の所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。

都道府県

問3. 貴社・貴団体の従業員規模として、あてはまるものをお選びください。(ひとつに○)

- | | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| 1. 50人以下 | 2. 51~100人 | 3. 101~500人 |
| 4. 501~1,000人 | 5. 1,001~5,000人 | 6. 5,001人以上 |

問4. 貴社・貴団体の本年度 2023年4月入社の大学新卒採用状況についてお伺いします。

大学卒の方の採用者数として、あてはまるものをお選びください。(ひとつに○)

- | | | |
|-----------------|-----------|-----------|
| 1. 大学新卒採用なし(0人) | 2. 1~9人 | 3. 10~49人 |
| 4. 50~99人 | 5. 100人以上 | |

問5. 貴社・貴団体の来年度 2024年4月入社の大学新卒採用について、現時点でどのようにお考えですか。

貴社・貴団体の方針にもっとも近いものをお選びください。(ひとつに○)

- | | | |
|-----------------|---------------|----------------|
| 1. 2023年度よりも増える | 2. 2023年度と同程度 | 3. 2023年度よりも減る |
| 4. 大学新卒採用は行わない | 5. 未定・わからない | |

問 6. 貴社・貴団体の今後 10 年程度の採用の見通しについてお伺いします。

量的・質的な確保の難易度について、あてはまるものを選びください。(それぞれ、ひとつに○)

			充足できる見通し	不足する見通し	わからない
a	採用予定人数	→	1	2	3
b	必要な社会人基礎力を持った人材	→	1	2	3
c	必要な専門性を持った人材	→	1	2	3

問 5. で「4. 大学新卒採用は行わない」を選んだ方は、ここで終了になります。ご協力ありがとうございました。

ここからは、**京都華頂大学 日本文化学部 日本文化学科(仮称・設置構想中)**についてお聞きします。
別途お配りしたリーフレットをよくお読みいただき、お答えください。

問 7. 貴社・貴団体では、どのような専門知識や、能力(スキル)や社会人基礎力等を修得した人材を採用したいですか。

以下の項目の中からあてはまるものを選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 日本文化を深く探求する力(専門知識)
2. 新しい文化創造に寄与する能力
3. 多文化・多様性を理解し価値観を尊重する豊かな人間性
4. 提案力・実行力・継続力などのソフトスキルを備え、社会に貢献できる資質・能力
5. あてはまるものはない

問 8. 京都華頂大学 日本文化学部 日本文化学科(仮称・設置構想中)で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えですか。

貴社・貴団体のお考えにもっとも近いものを選びください。(ひとつに○)

1. 採用対象になる
2. おそらく採用対象になる
3. 採用対象として検討してもよい
4. あまり採用対象にならない
5. 採用対象にならない

問 9. 問 8 で、「1.採用対象になる」「2.おそらく採用対象になる」「3.採用対象として検討してもよい」を選んだ方にお聞きします。

何人程度の採用が見込めるか、それぞれ学科ごとにお答えください。(ひとつに○)

1. 1名
2. 2名
3. 3名
4. 4名
5. 5～9名
6. 10～19名
7. 20名以上
8. 採用人数は未確定

アンケートはこれで終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

資料 19 :
人材養成に関するアンケート調査(調査協力事業所)

調査協力企業等一覧

No.	回答企業名	所在地
1	プロニクス株式会社	京都府
2	ロンドフードサービス	京都府
3	株式会社進々堂	京都府
4	株式会社土井志ば漬本舗	京都府
5	株式会社満月	京都府
6	京栄食品株式会社 京都祇園ボロニャ	京都府
7	シミズ薬品株式会社	京都府
8	株式会社ENGIN	京都府
9	株式会社ハートフレンド	京都府
10	株式会社ミル絵本社	京都府
11	株式会社西浅	京都府
12	京滋ユアサ電機株式会社	京都府
13	京都ダイハツ販売株式会社	京都府
14	千切屋株式会社	京都府
15	株式会社キャピタル東洋亭本店	京都府
16	株式会社ハトヤ瑞鳳閣	京都府
17	株式会社ホテルプリンセス京都	京都府
18	株式会社高台寺和久傳	京都府
19	京阪ホテルズ&リゾート株式会社	京都府
20	木下物産株式会社	京都府
21	ニッポンレンタカー関西株式会社	京都府
22	株式会社トヨタレンタリース京都	京都府
23	宗教法人 八坂神社	京都府
24	全国共済農業協同組合連合会 滋賀県本部	滋賀県
25	滋賀ダイハツ販売株式会社	滋賀県
26	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院	滋賀県
27	株式会社アレックスコスメティック ジャパン	滋賀県
28	JA全農しが	滋賀県
29	株式会社ホンダ北大阪	大阪府
30	株式会社関西ケースデンキ	大阪府
31	株式会社ジェイアール西日本フードサービスネット	大阪府
32	株式会社マルタマフーズ	大阪府
33	株式会社中の坊・有馬グランドホテル	兵庫県
34	株式会社アンテリーベ	兵庫県
35	株式会社エイブル	東京都
36	ウエルシア薬局株式会社	東京都
37	株式会社サンドラッグ	東京都
38	株式会社ナルミヤ・インターナショナル	東京都
39	コンパスグループ・ジャパン株式会社	東京都
40	大江戸温泉物語ホテルズ&リゾート株式会社	東京都
41	株式会社ヤマダヤ	愛知県
42	株式会社ブロンコピリー	愛知県